

子どもの生活に関する実態調査
こども・若者の意識と生活に関する調査
アンケート調査報告書

令和6年7月

白岡市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と対象	1
3. 調査の実施方法と時期	1
4. 回収結果	2
5. 調査内容	2
6. 集計と表記	3
第2章 調査結果の概要	5
1. こどもや若者の自己認識について	5
2. 希望する教育段階について	6
3. 悩みごとの相談相手について	7
4. ヤングケアラーについて	8
5. 暮らしや経済的状況について	9
6. こども・若者施策について	10
第3章 子どもの生活に関する実態調査—中学2年生	11
1. 回答者の属性	11
(1) 性別	11
2. 学校や勉強について	12
(1) 勉強方法	12
(2) 一日あたりの勉強時間	13
(3) 授業の理解状況	14
3. 将来について	15
(1) 進学したいと思う教育段階	15
4. ふだんの生活について	16
(1) 部活動やスポーツ・文化クラブの参加状況	16
(2) 幸せ感	17
5. ふだん考えていることや感じていることについて	18
(1) 困っていることや悩んでいること	18
(2) 悩みごとなどの相談相手	19
(3) こころの状態について	21
(4) 居場所の利用状況	24
(5) ヤングケアラーの認知状況	26
(6) ヤングケアラーの友人への対応	26
(7) こども・若者施策への希望	27
(8) 自由意見	28
第4章 子どもの生活に関する実態調査—保護者	29
1. 回答者の基本属性	29
(1) 続柄	29
(2) 家族の人数	30
(3) 同居家族	30
(4) 親の婚姻状況と養育費	31

(5) 家庭での言語	32
(6) こころの状態	33
2. 子どもの両親について	34
(1) 親の最終学歴	34
(2) 親の就労状況	35
3. 子どものこれまでの経験について	36
(1) 0～2歳に通っていた教育・保育施設等	36
(2) 3～5歳に通っていた教育・保育施設等	36
4. 子どもの教育などについて	37
(1) 子どもとの関わり方について	37
(2) 学校等との関わり方について	38
(3) 子どもの将来の教育段階	39
5. 現在の暮らしや生活について	40
(1) 頼れる人の有無	40
(2) 暮らしの状況	42
(3) 世帯の年間収入	43
(4) 食料品が買えなかったこと	44
(5) 衣服が買えなかったこと	44
(6) 公共料金が未払いになったこと	45
6. ヤングケアラーについて	46
(1) ヤングケアラーの認知状況	46
(2) ヤングケアラーのこどもに対する対応	46
7. 公的支援の利用状況等について	47
(1) 支援制度の利用状況	47
(2) 自由意見	48
第5章 こども・若者の意識と生活に関する調査.....	49
1. 回答者の基本属性	49
(1) 性別	49
(2) 年齢	49
(3) 同居家族	50
(4) 主に生計を支えている人	50
(5) 在学・最終学歴	51
(6) 現在の仕事	51
2. 日頃の意識と生活について	52
(1) 情報の入手先	52
(2) 自己認識	53
(3) 居場所	54
(4) 孤独感	55
(5) 他者との関わり方	56
(6) 悩みごとなどの相談相手	59
(7) 20年後の姿.....	60
(8) 外出頻度と状態について	61
(9) 困難に直面した経験	63
(10) 相談先に求めること	65

3. 若者への支援について	67
(1) 結婚や子育てに温かい社会について	67
(2) 白岡市の若者支援で期待すること	68
(3) 少子化抑制に効果的なこと	69
(4) こども・若者支援に関する自由意見	70
資料 調査票	73
(1) 子どもの生活に関する実態調査－中学2年生	73
(2) 子どもの生活に関する実態調査－保護者	77
(3) こども・若者の意識と生活に関する調査	81

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「白岡市こども計画」の策定にあたり、白岡市の子どもたちの生活実態や、こども・若者の状況、今後の意向を把握するために実施しました。

2. 調査の種類と対象

項目	対象
子どもの生活に関する実態調査	
中学2年生	市内中学校に在籍する中学2年生
中学2年生保護者	市内中学校に在籍する中学2年生の保護者
こども・若者の意識と生活に関する調査	15～39歳の市民

3. 調査の実施方法と時期

項目	調査方法	調査時期
子どもの生活に関する実態調査		
中学2年生	学校を通じた配布 インターネットによる回答	令和6年3月8日 ～4月20日
中学2年生保護者	学校を通じた配布 郵送回収及びインターネットによる 回答	令和6年3月8日 ～4月20日
こども・若者の意識と生活に関する調査	郵送配布・郵送回収及びインターネットによる回答	令和6年3月11日 ～5月1日

4. 回収結果

項目	配布数	有効回収数		回収率
子どもの生活に関する実態調査				
中学2年生	424	317		74.8%
中学2年生保護者	424	211	郵送 78	49.8%
	インターネット 133			
こども・若者の意識と生活に関する調査	1,000	351	郵送 174	35.1%
	インターネット 177			

注) 中学2年生及び保護者の配布数は、令和5年5月1日現在の数。

5. 調査内容

項目	調査内容
子どもの生活に関する実態調査	
中学2年生	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の基本属性 ○学校や勉強について ○将来について ○ふだんの生活について ○ふだん考えていることや感じていることについて
中学2年生保護者	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の基本属性 ○子どもの両親について ○子どものこれまでの経験について ○子どもの教育などについて ○現在の暮らしや生活について ○ヤングケアラーについて ○公的支援の利用状況等について
こども・若者の意識と生活に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の基本属性 ○日頃の意識と生活について ○若者への支援について

6. 集計と表記

(1) 回答率

- 回答は、質問ごとに各項目の回答者数を回答者総数で除し、百分率（%）で表示しました。算出された回答率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問によっては、1人の回答者が1つだけ回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%にならないものもあります。
- 1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を上回ることもあります。

(2) 表記

- 表、グラフ中では、回答率（%）とともに、その設問に回答すべき数（回答者総数）も表示しています。ただし、スペースの都合により省略している場合があります。
- 回答者総数が10人以下の項目については、表記を省略している場合があります。
- 表、グラフ、本文中において、回答選択肢の表記は、スペースの都合により簡略化している場合があります。

第2章 調査結果の概要

第2章 調査結果の概要

1. こどもや若者の自己認識について

中学2年生に、今の生活をどのくらい幸せだと感じるかについて5段階で評価してもらったところ、「5 とても幸せだ」が30.6%、「4」が40.7%、「3」が21.8%、「2」が4.7%、「1 まったく幸せでない」が1.6%となっています。4以上の評価で約7割を占めています。

こども・若者調査で、『あなたは、今、自分が幸せだと思う』という項目について、「そう思う」は42.2%、「どちらかといえばそう思う」は44.4%となっています。これらを合わせると約9割となり、幸せと感じる割合が多くなっています。

中学2年生調査、こども・若者調査ともに「幸福感」を感じている割合が多くなっています。

図 幸せ感 [中学2年生]

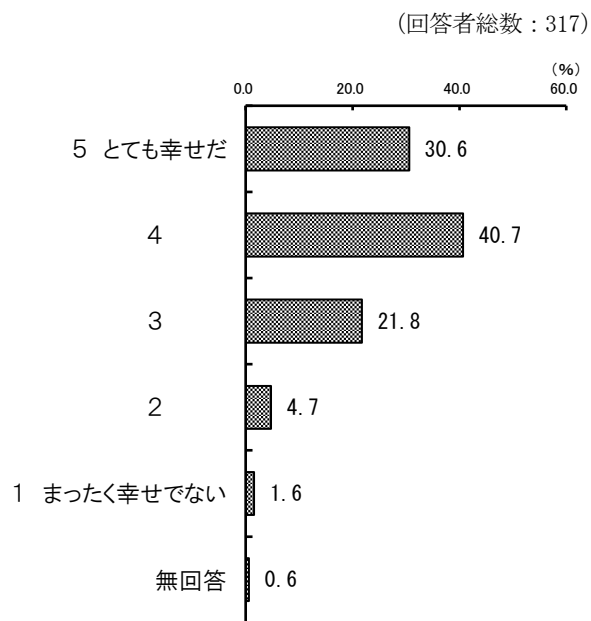
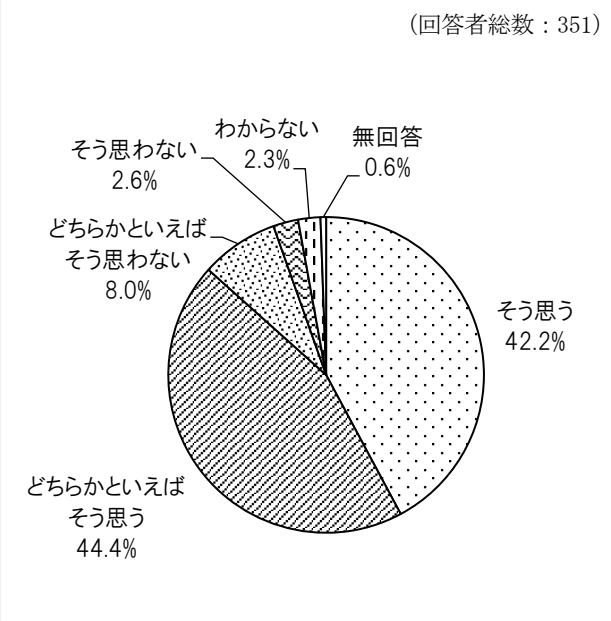


図 今、自分が幸せだと思う [こども・若者]



2. 希望する教育段階について

中学2年生が将来進学したいと思う教育段階については、「大学またはそれ以上」が51.1%で約半数を占めています。

保護者からみた子どもの将来の教育段階についても、「大学またはそれ以上」が58.3%となっています。

子ども、保護者双方で「大学またはそれ以上」と考えている割合が多くなっています。

中学2年生の結果を、県の調査と比較してみると、「高校まで」の割合が少なく、「大学またはそれ以上」が約11ポイント多くなっています。大学志望者が多い傾向がみられます。

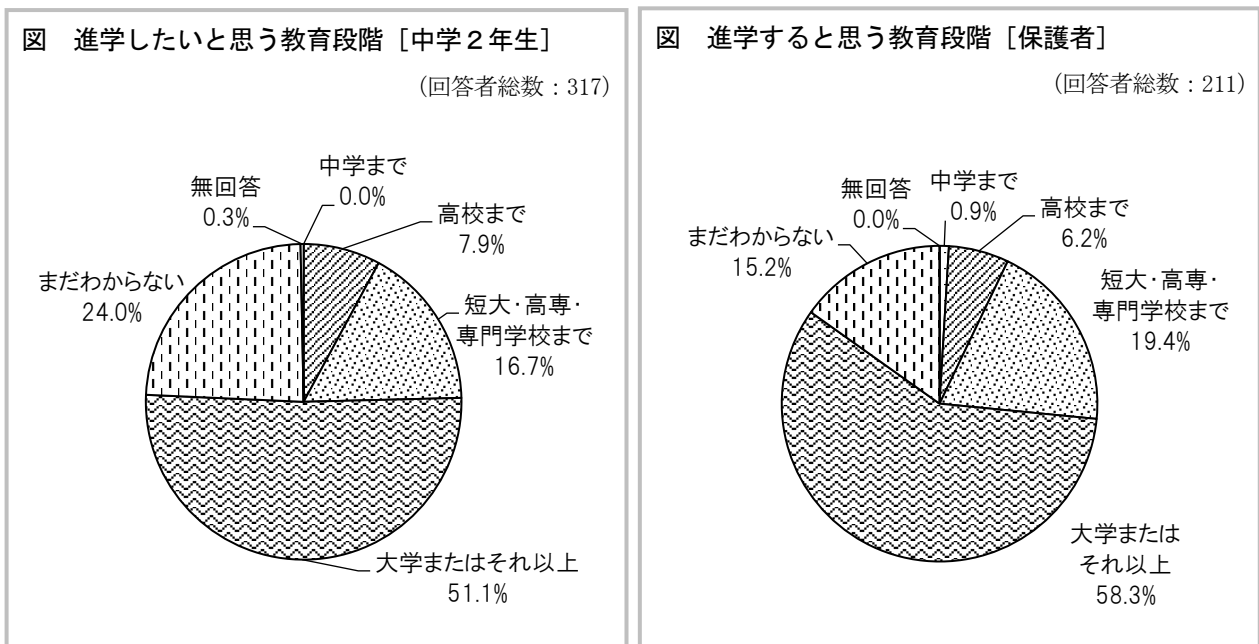


表 中学2年生の進学希望の県調査との比較

単位 : %

項目	白岡市 (回答者総数 : 317)	埼玉県 (回答者総数 : 855)
中学まで	0.0	0.1
高校まで	7.9	16.7
短大・高専・専門学校まで	16.7	19.7
大学またはそれ以上	51.1	40.2
まだわからない	24.0	21.9
無回答	0.3	1.5

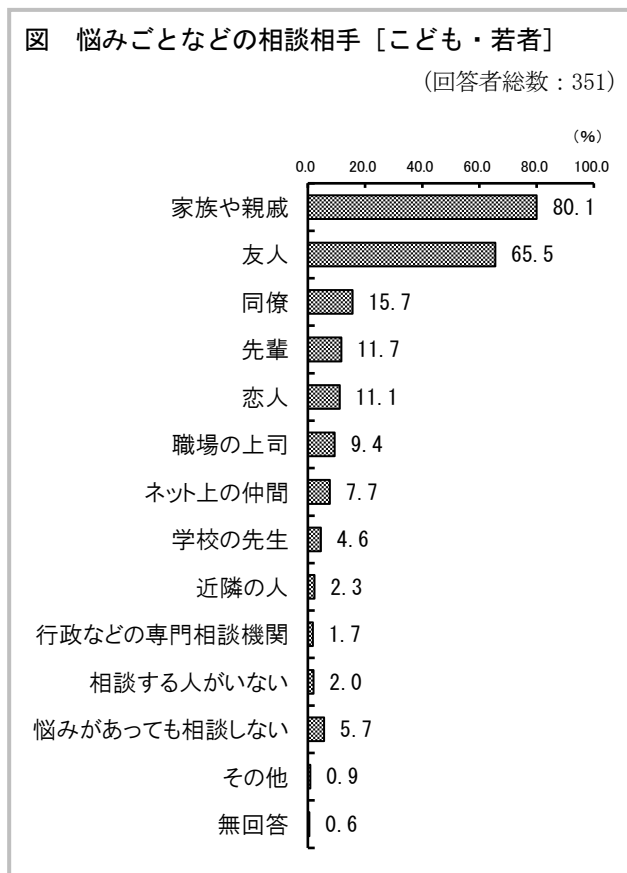
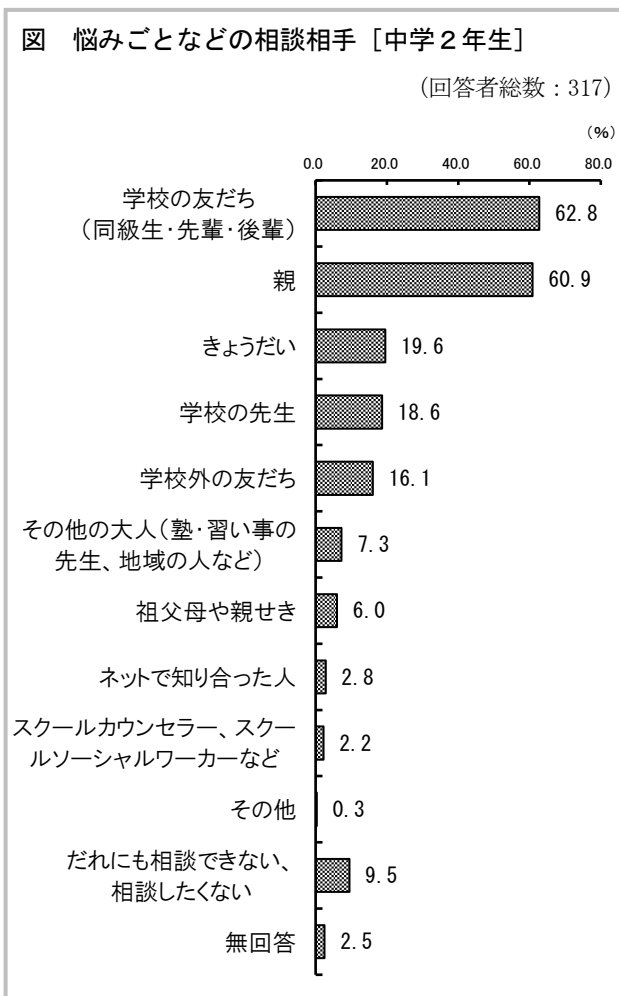
注) 埼玉県のデータは、「令和5年度 埼玉県子供の生活に関する実態調査」中学2年生の集計結果から作成

3. 悩みごとの相談相手について

中学2年生で、困っていることや悩んでいることがあるときの相談相手は、「学校の友だち（同級生・先輩・後輩）」が62.8%で最も多く、次に「親」が60.9%となっています。また、「だれにも相談できない、相談したくない」は9.5%となっています。

こども・若者調査で、悩みごとなどの相談相手については、「家族や親戚」が80.1%で最も多く、次に「友人」が65.5%となっています。また、「相談する人がいない」は2.0%、「悩みがあっても相談しない」は5.7%となっています。

何らかの相談相手がいる割合が多くなっていますが、相談したくない・相談する人がいないという割合は約1割あります。



4. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーという言葉について、中学2年生では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が41.6%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が33.1%、「聞いたことはない」が23.7%となっています。

保護者では、「聞いたことがあり、内容も知っている」が88.6%で多くを占めています。

令和4年度に実施した「ヤングケアラーに関する実態調査」の中学2年生の回答と比較すると、「聞いたことがあり、内容も知っている」では4.6ポイント増加しており、ヤングケアラーの認知が少しずつ進んでいることがうかがえます。

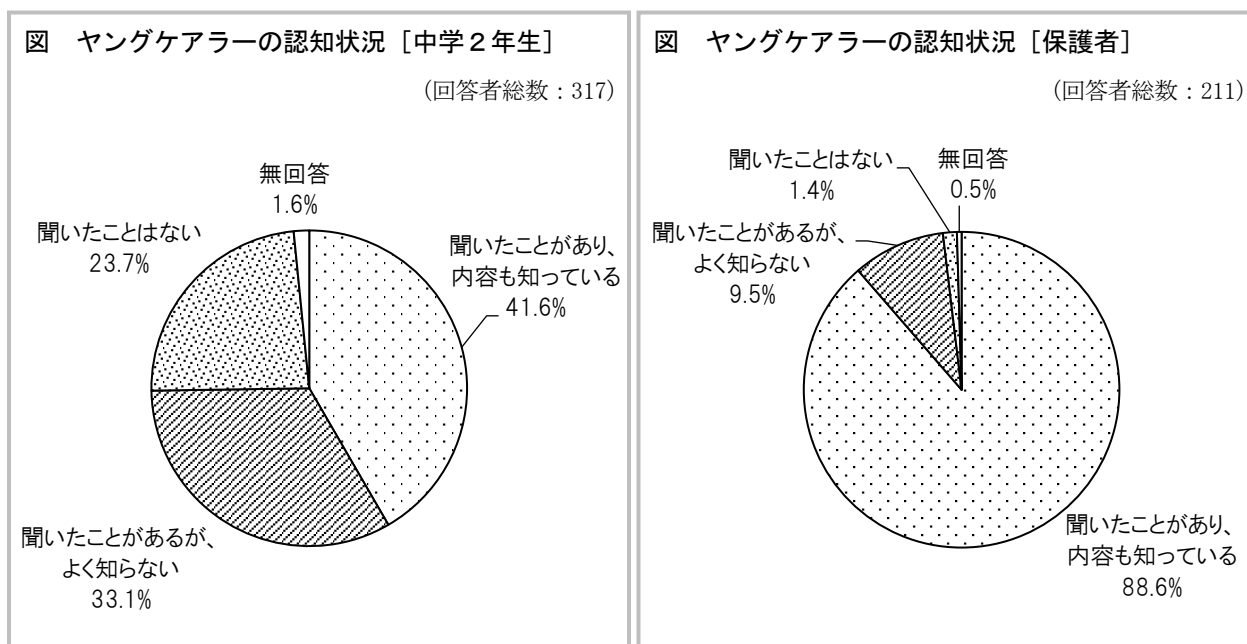


表 中学2年生のヤングケアラーの認知状況の経年比較

単位：%

項目	令和5年度調査 (回答者総数：317)	令和4年度調査 (回答者総数：384)
聞いたことがあり、内容も知っている	41.6	37.0
聞いたことがあるが、よく知らない	33.1	25.0
聞いたことはない	23.7	38.0
無回答	1.6	0.0

注) 令和4年度調査は、「ヤングケアラーに関する実態調査」中学2年生の集計結果

5. 暮らしや経済的状況について

保護者調査では、現在の暮らしの状況について、「ふつう」という回答が63.5%で多くなっています。一方、「苦しい」は17.5%、「大変苦しい」は4.7%で、暮らしが苦しいとした割合は約2割となっています。

世帯の年間収入については、600万円以上が約6割となっています。また、「200万円未満」は2.4%、「200～400万円未満」は6.1%となっています。

過去1年間の家庭の経済的な状況についてたずねた結果では、「家族が必要とする食料が買えなかったことがある」が9.0%、「家族が必要とする衣服が買えなかったことがある」が9.9%、「電気料金が未払いになったことがある」が0.9%、「ガス料金が未払いになったことがある」が0.5%、「水道料金が未払いになったことがある」が1.4%となっています。

公共料金未払いなどの家庭は少ないものの、暮らしが苦しいと感じている家庭は少なくないことから、今後も安心して教育や子育てができるような施策が求められています。

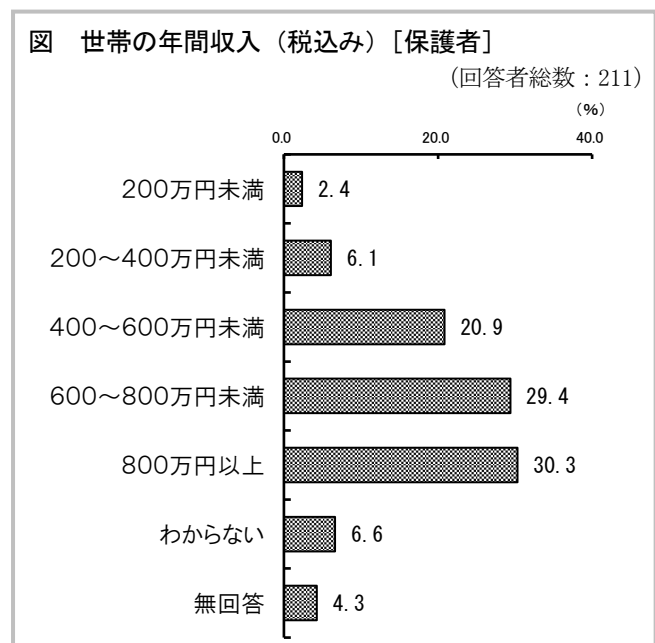
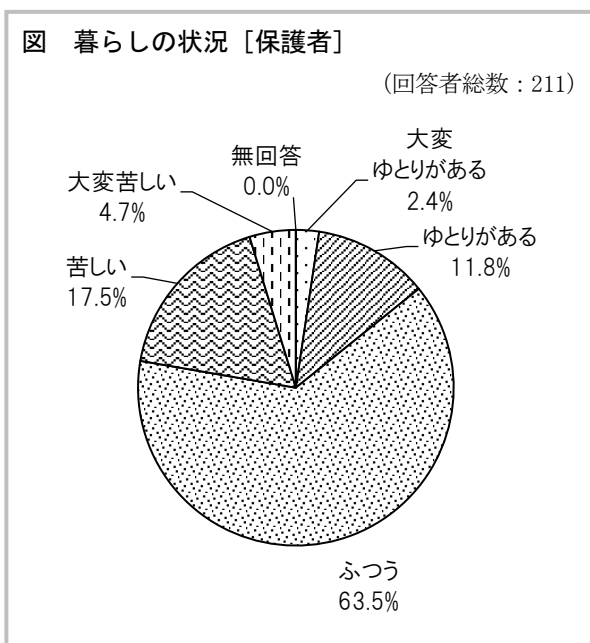


表 過去1年間の家庭の経済的状況 [保護者]

(回答者総数：211)

項目	割合 (%)
家族が必要とする食料が買えなかったことがある (「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計)	9.0
家族が必要とする衣服が買えなかったことがある (「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計)	9.9
電気料金が未払いになったことがある	0.9
ガス料金が未払いになったことがある	0.5
水道料金が未払いになったことがある	1.4

6. こども・若者施策について

中学2年生がどのようなこども・若者の施策を望んでいるかについては、「駅周辺にこども・若者向けのお店が入ってもらいたい」が24.6%で最も多く、次に「こどもが楽しめる・参加しやすいイベントを増やして欲しい」が18.9%、「ホッとできる居場所を作って欲しい」が16.1%となっています。

こども・若者調査で白岡市の若者支援で期待することについては、「出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が61.0%で最も多く、次に「安定して働きがいのある雇用の場づくりをしてほしい」が41.0%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が37.9%となっています。

こどもや若者が身近で楽しめるような居場所づくりが求められているとともに、若者では、安心して働ける環境づくりが望まれています。

図 こども・若者施策への希望 1番目に希望するもの 上位5項目 [中学2年生]

(回答者総数：317)

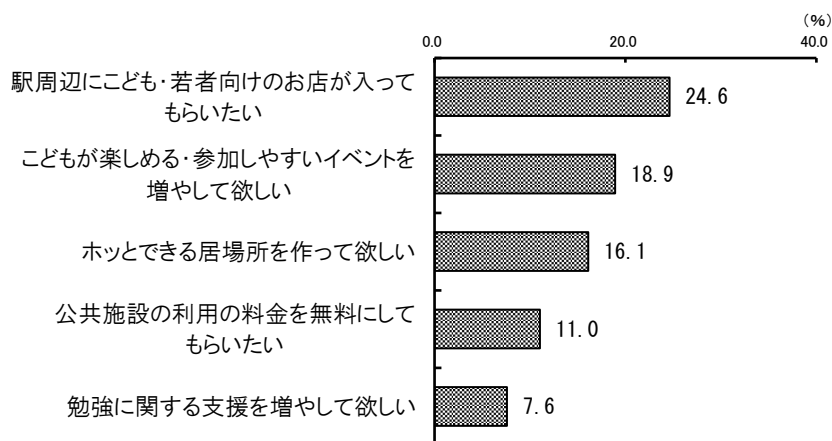
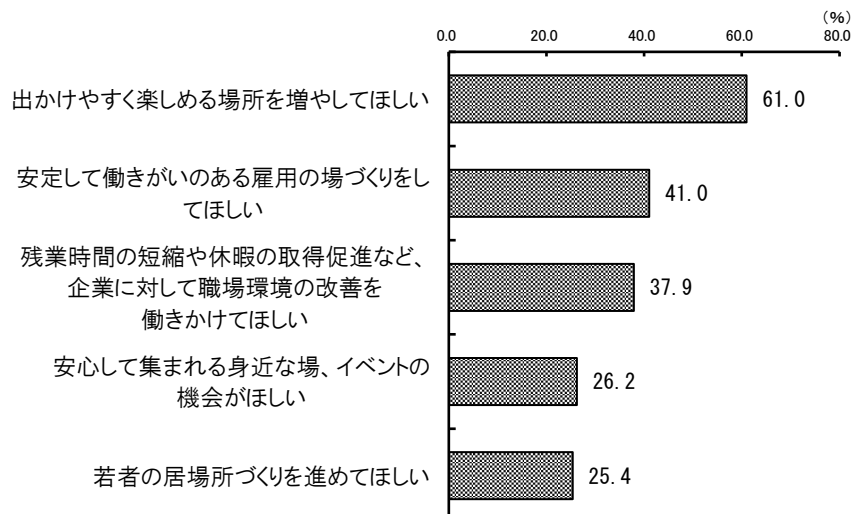


図 白岡市の若者支援で期待すること 上位5項目 [こども・若者]

(回答者総数：351)



第3章 子どもの生活に関する実態調査－中学2年生

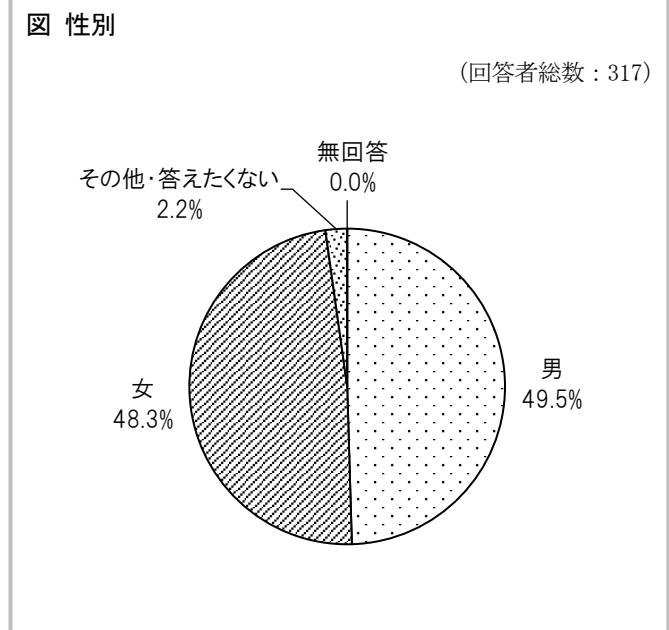
第3章 子どもの生活に関する実態調査－中学2年生

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。[1つ]

性別については、「男」が49.5%、「女」が48.3%、「その他・答えたくない」が2.2%となっています。



2. 学校や勉強について

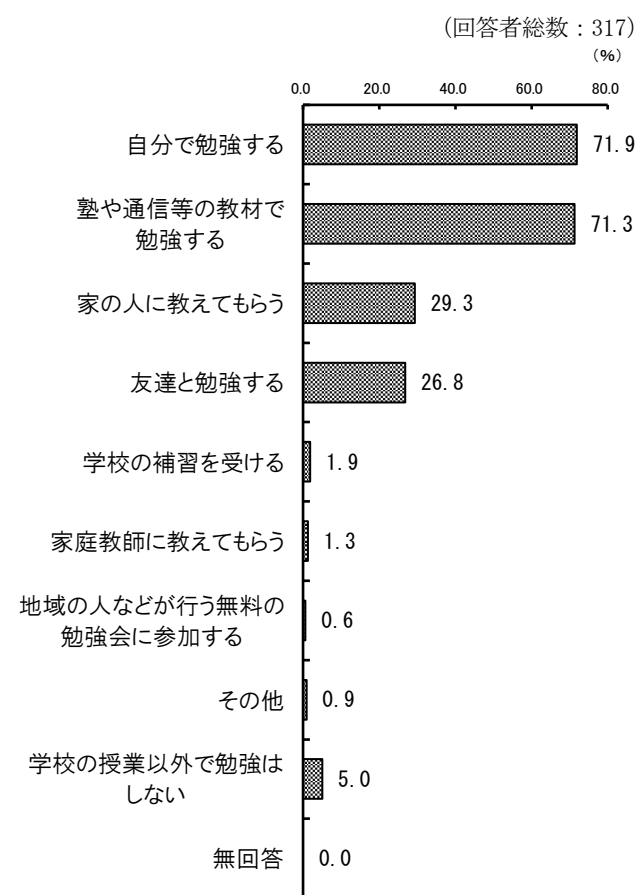
(1) 勉強方法

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※ 勉強には学校の宿題もふくみます。[1～8については、あてはまるものすべて]

ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が71.9%で最も多く、次に「塾や通信等の教材で勉強する」が71.3%、「家の人に教えてもらう」が29.3%、「友達と勉強する」が26.8%となっています。

図 勉強方法



(2) 一日あたりの勉強時間

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。[a, bそれぞれについて1つずつ]

a) 学校がある日(月～金)

b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)

ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間を勉強するかについては、学校がある日(月～金)は、「1時間以上、2時間より少ない」が31.2%で最も多く、次に「30分以上、1時間より少ない」が21.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が19.6%となっています。

また、学校がない日(土・日曜日・祝日)の勉強時間は、「30分以上、1時間より少ない」が23.7%で最も多く、次に「1時間以上、2時間より少ない」が22.4%、「30分より少ない」が15.5%となっています。

図 学校がある日の勉強時間(月～金)

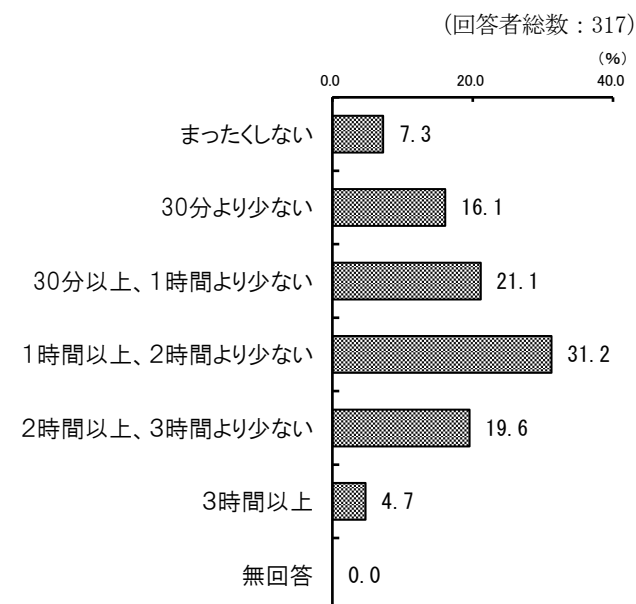
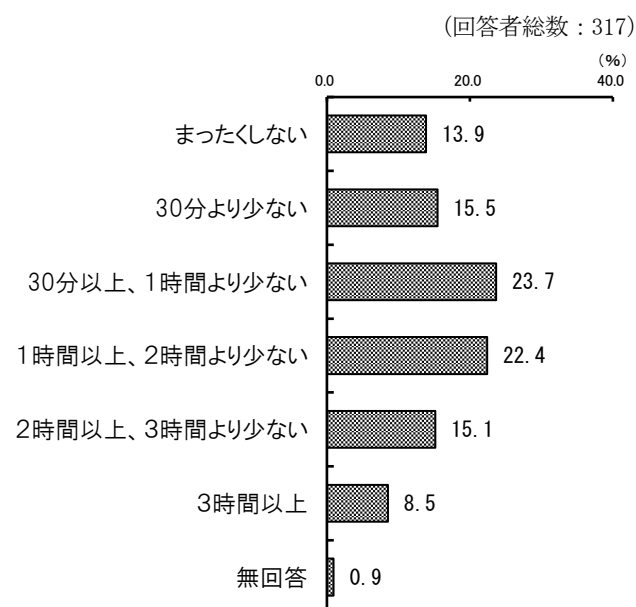


図 学校がない日の勉強時間(土・日曜日・祝日)



(3) 授業の理解状況

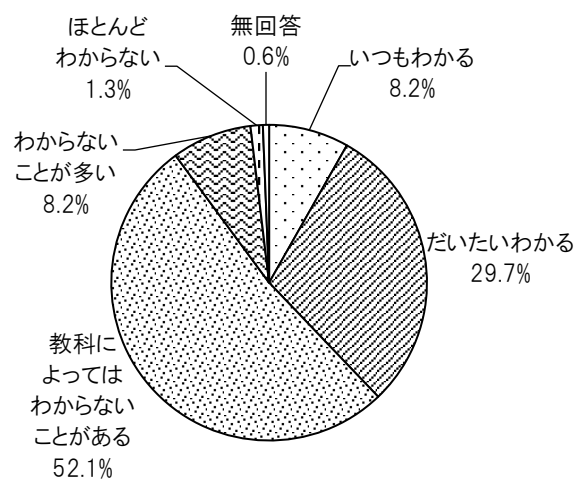
問4 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。[1つ]

学校の授業の理解状況については、「いつもわかる」が 8.2%、「だいたいわかる」が29.7%となっています。また、「教科によってはわからないことがある」が52.1%で多くなっています。

一方、「わからないことが多い」は 8.2%、「ほとんどわからない」は 1.3%で、これらを合わせると約1割となっています。

図 授業の理解状況

(回答者総数：317)



3. 将来について

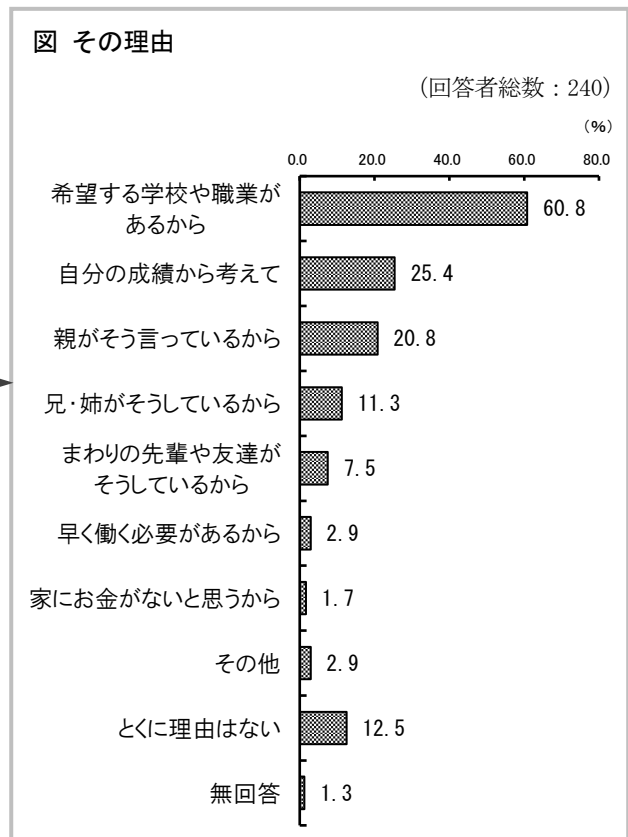
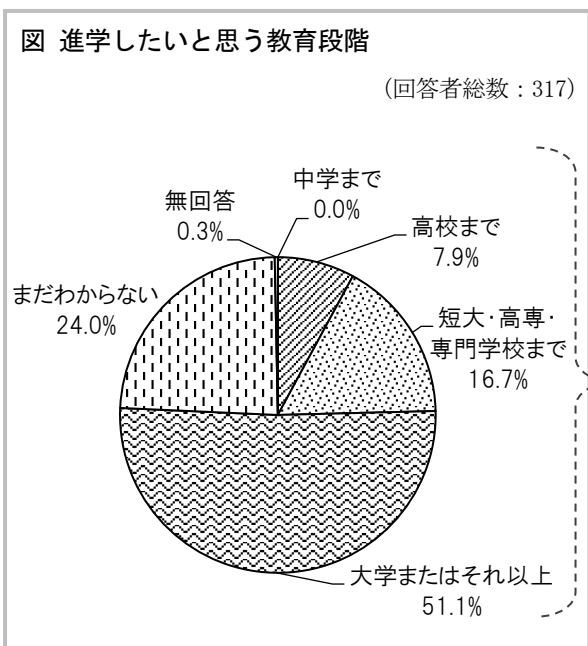
(1) 進学したいと思う教育段階

問5 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。[1つ]

問6 問5で1～4（「1. 中学まで」、「2. 高校まで」、「3. 短大・高専・専門学校まで」、「4. 大学またはそれ以上」）と答えた人にお聞きします。
その理由を教えてください。[1～8については、あてはまるものすべて]

将来進学したいと思う教育段階については、「大学またはそれ以上」が51.1%で、約半数を占めています。「高校まで」は7.9%、「短大・高専・専門学校まで」は16.7%となっています。また、「まだわからない」は24.0%となっています。

教育段階の理由については、「希望する学校や職業があるから」が60.8%で最も多く、次に「自分の成績から考えて」が25.4%、「親がそう言っているから」が20.8%となっています。



4. ふだんの生活について

(1) 部活動やスポーツ・文化クラブの参加状況

問7 あなたは、学校の部活動やスポーツクラブ、文化クラブに参加していますか。[1つ]

問8 問7で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。[あてはまるものすべて]

学校の部活動やスポーツクラブ、文化クラブに参加しているかについては、「参加している」が91.2%、「参加していない」が8.5%となっています。

参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」が59.3%で最も多く、次に「塾が忙しいから」が25.9%、「費用がかかるから」が22.2%となっています。

図 部活動やスポーツ・文化クラブの参加状況

(回答者総数：317)

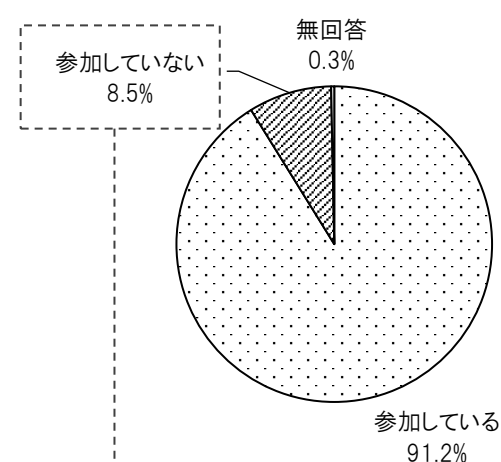
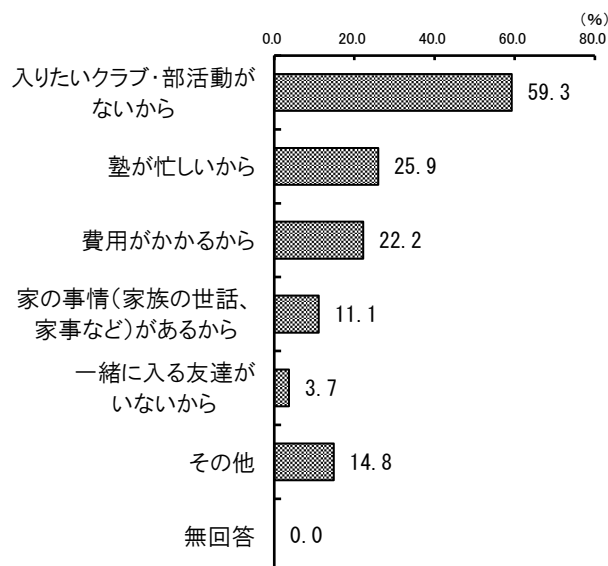


図 参加していない理由

(回答者総数：27)

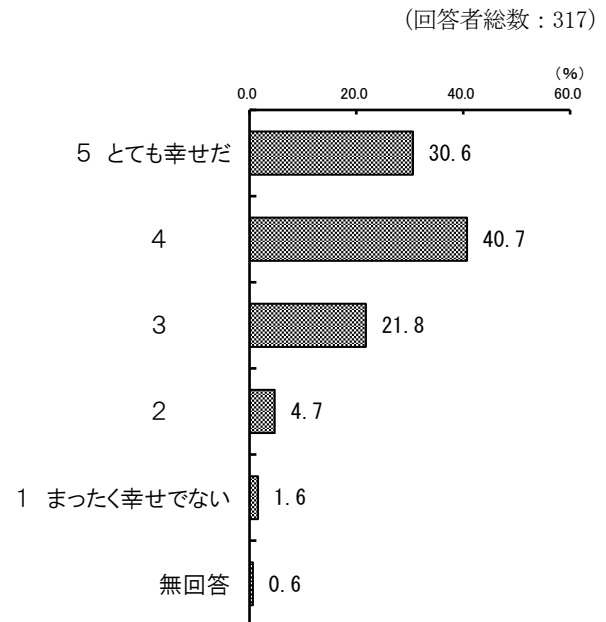


(2) 幸せ感

問9 あなたは今の生活に、どのくらい幸せだと感じますか。「5とても幸せだ」から「1まったく幸せでない」の数字で教えてください。[1つ]

今の生活を、どのくらい幸せだと感じるかについて5段階で評価してもらったところ、「5 とても幸せだ」が30.6%、「4」が40.7%、「3」が21.8%、「2」が4.7%、「1 まったく幸せでない」が1.6%となっています。

図 幸せ感



5. ふだん考えていることや感じていることについて

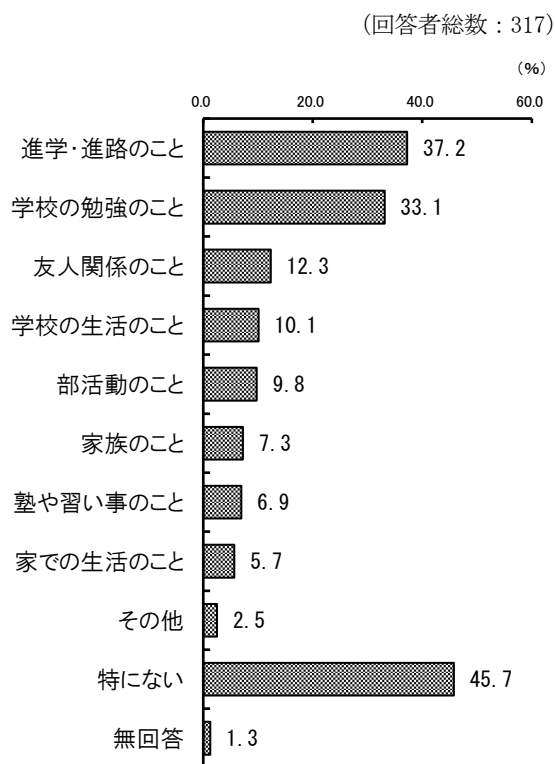
(1) 困っていることや悩んでいること

問10 あなたが困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。[1～9については、あてはまるものすべて]

困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいと思っていることについては、「特にない」が45.7%で最も多くなっています。

困っていることや悩んでいることの中では「進学・進路のこと」が37.2%で最も多く、次に「学校の勉強のこと」が33.1%、「友人関係のこと」が12.3%となっています。

図 困っていることや悩んでいること



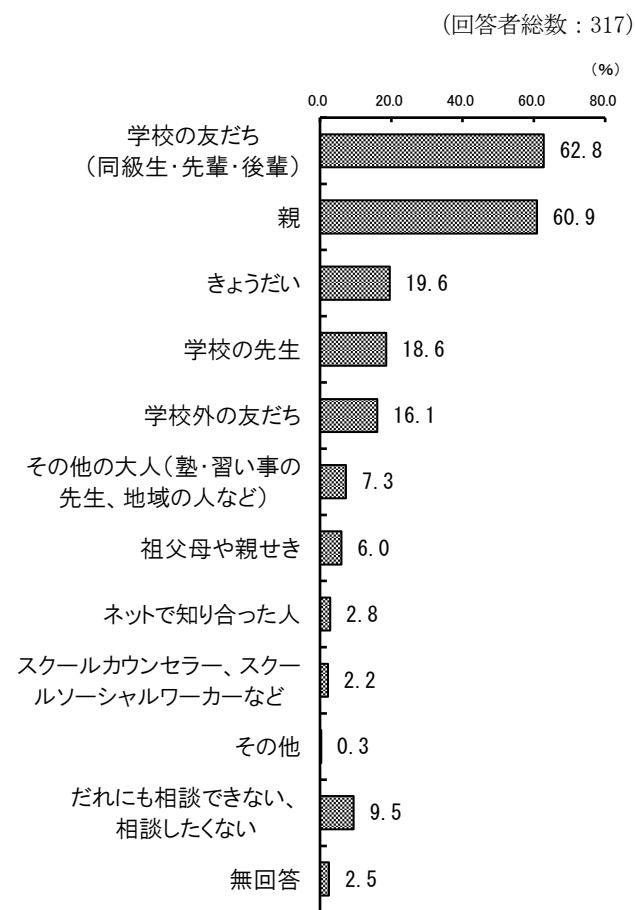
(2) 悩みごとなどの相談相手

問11 あなたは、困っていることや悩んでいることがあるとき、だれに相談しようと思いますか。
[1～10については、あてはまるものすべて]

困っていることや悩んでいることがあるときの相談相手は、「学校の友だち（同級生・先輩・後輩）」が62.8%で最も多く、次に「親」が60.9%、「きょうだい」が19.6%となっています。

また、「だれにも相談できない、相談したくない」は9.5%となっています。

図 悩みごとなどの相談相手



問12 問11で「11 だれにも相談できない、相談したくない」と答えた人にお聞きします。
だれにも相談できない、相談したくなかった理由は次のどれですか。[あてはまるものすべて]

問13 問11で「11 だれにも相談できない、相談したくない」と答えた人にお聞きします。
相談しなかった結果、悩みごとや困りごとはどうなりましたか。[1つ]

だれにも相談できない、相談したくなかった理由については、「相談しても解決しないと思うから」が56.7%で最も多く、次に「相手にどのように話せばよいかわからないから」が50.0%、「過去に相談して嫌な思いをしたから」が30.0%となっています。

相談しなかった結果については、「解決した」が10.0%、「どちらとも思えない」が70.0%、「解決しなかった」が16.7%となっています。

図 だれにも相談できない、相談したくなかった理由

(回答者総数：30)

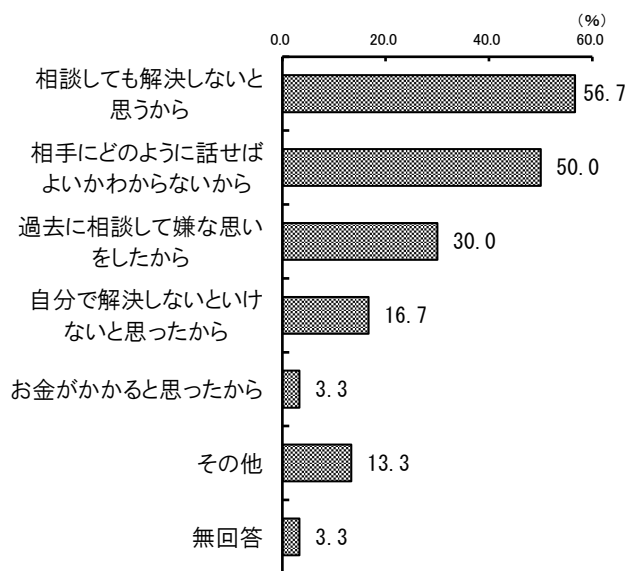
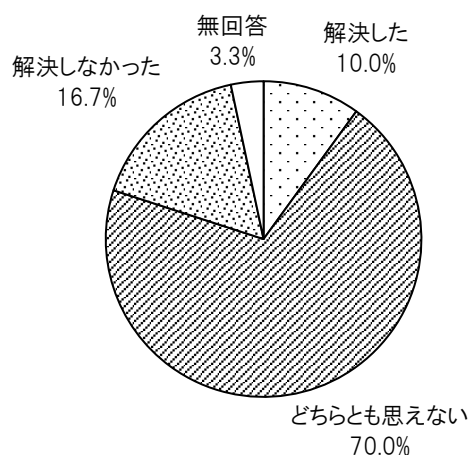


図 相談しなかった結果

(回答者総数：30)



(3) こころの状態について

問14 次の項目について、ここ半年くらいのことを考えて、「1. あてはまらない」「2. あてはまる」「3. わからない」のどれかから回答してください。[a～oそれぞれについて1つずつ]

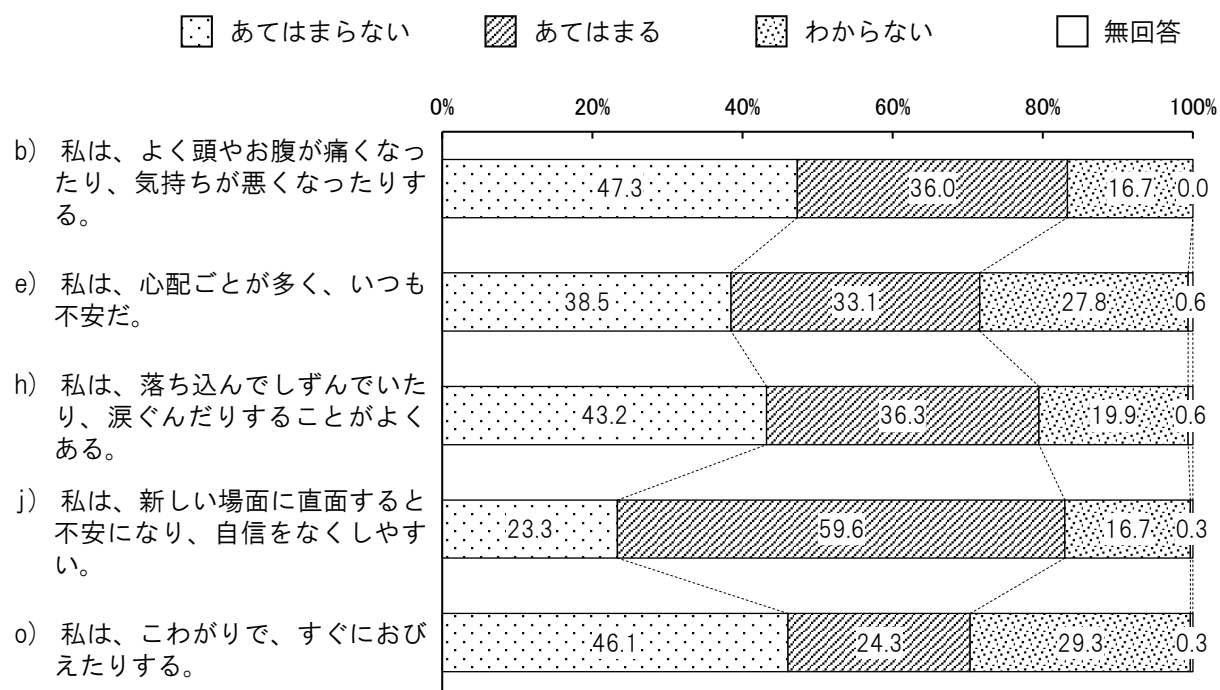
こころの状態を15項目についてたずねました。15項目を、情緒の問題に関するもの、仲間関係の問題に関するもの、向社会性に関するもので分類してまとめました。

情緒の問題に関するものでは、『私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。』について「あてはまる」という割合が59.6%で多くなっています。

◇情緒の問題

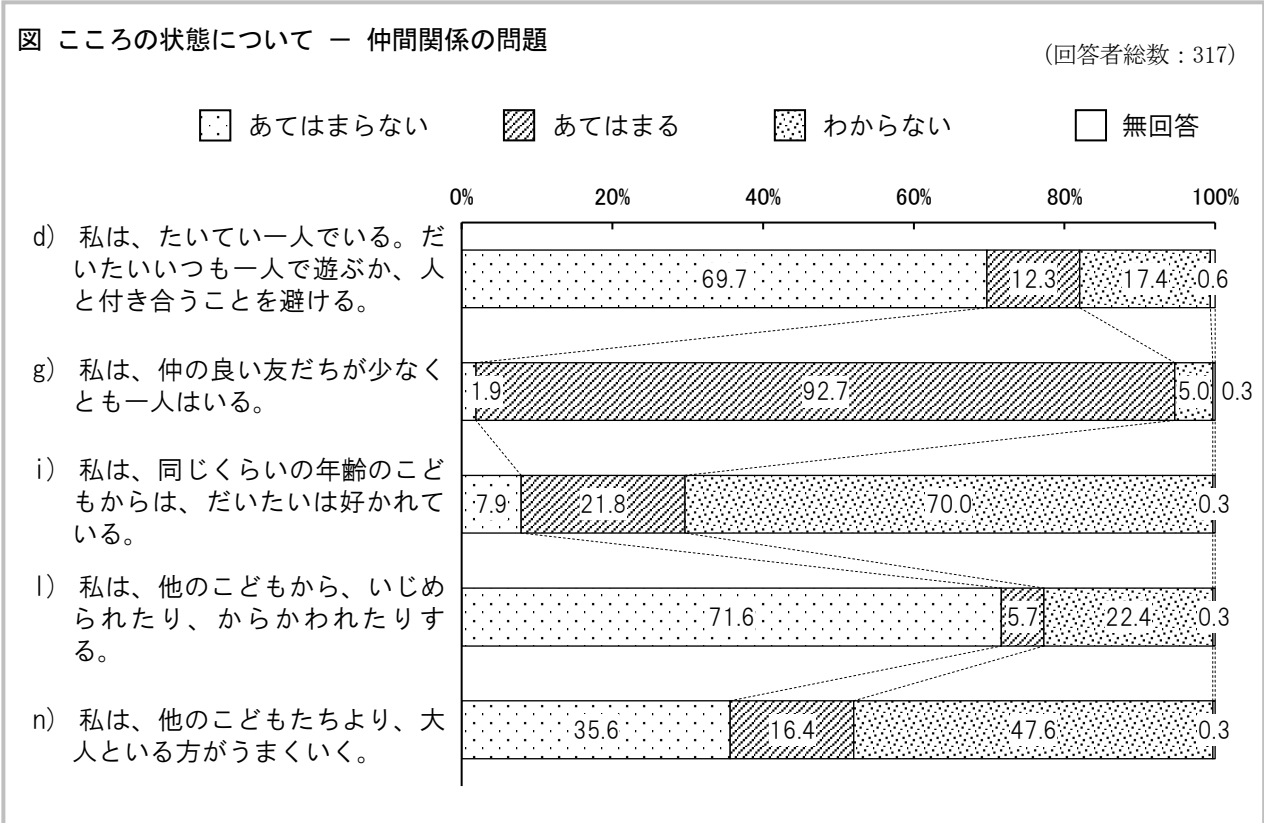
図 こころの状態について - 情緒の問題

(回答者総数：317)



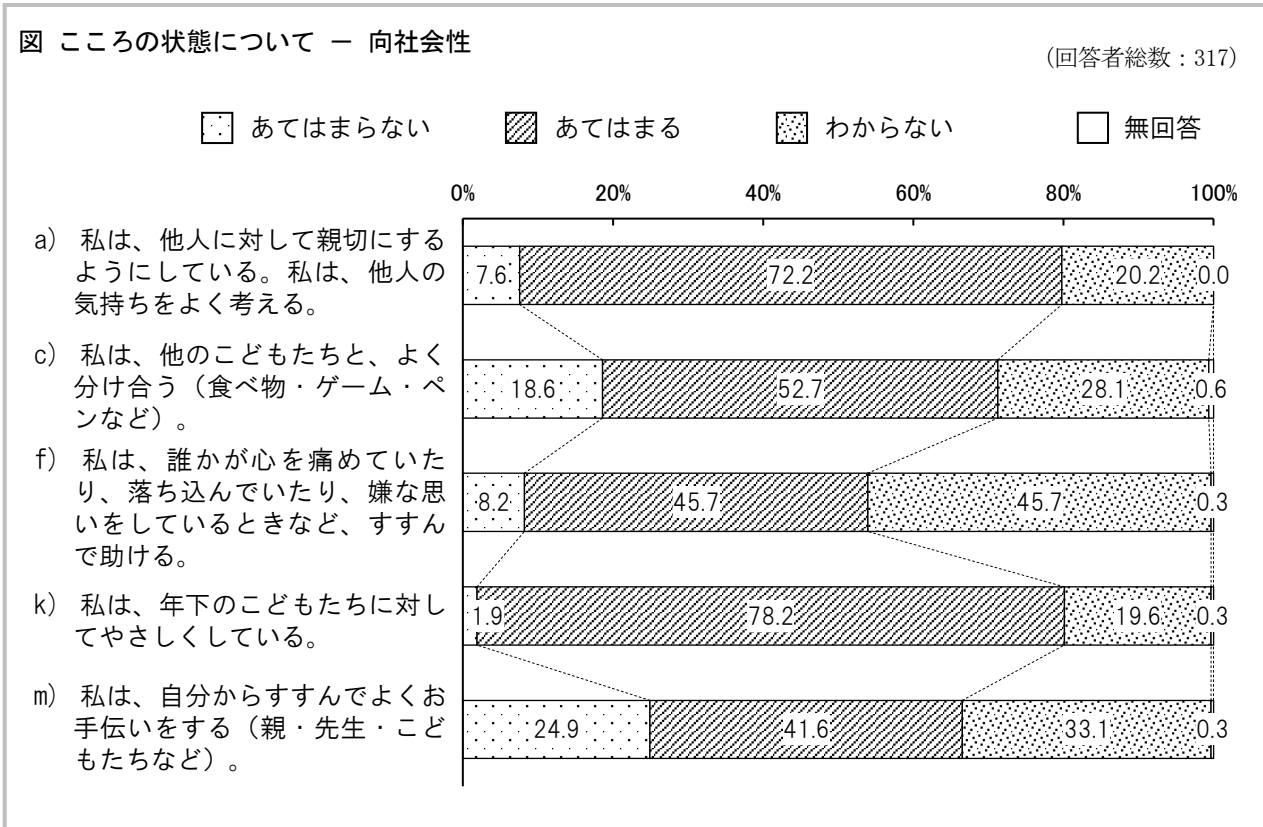
仲間関係の問題に関するものでは、『私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。』について「あてはまらない」という割合が69.7%で多く、『私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。』について「あてはまる」という割合が92.7%で多くなっています。

◇仲間関係の問題



向社会性に関するものでは、『私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。』について「あてはまる」という割合が72.2%で多く、また、『私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。』について「あてはまる」という割合が78.2%で多くなっています。

◇向社会性



(4) 居場所の利用状況

問15 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。
 また、「②利用したことはない」場合、今後利用したいと思いますか。[a～dそれぞれについて
 1つずつ]

居場所の利用状況については、「利用したことがある」は『(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(図書館、コミュニティセンターなど)』で64.0%となっています。また、「あれば利用したいと思う」は、『(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(こども食堂など)』で32.5%、『勉強を無料でみてくれる場所』で44.8%となっています。

表 居場所の利用状況

(回答者総数: 317) 単位: %

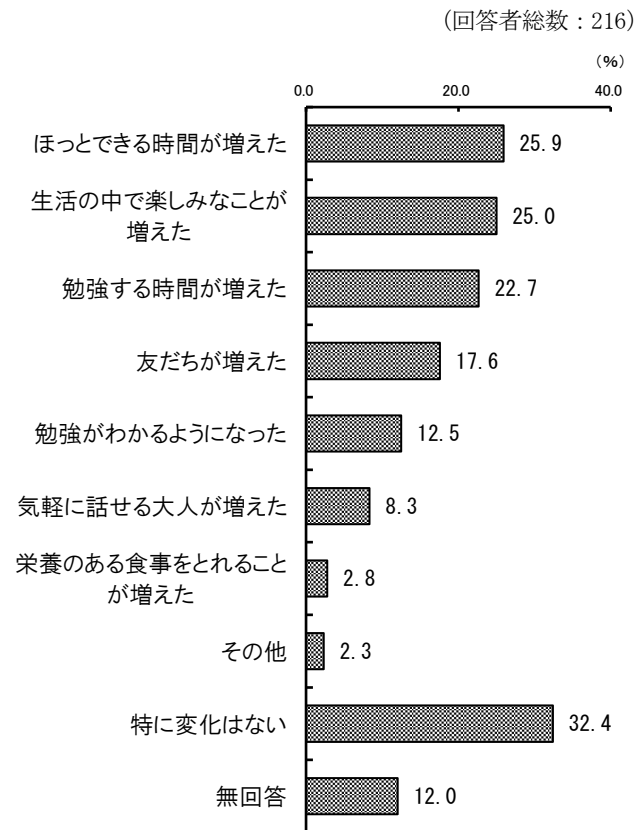
	①利用したことがある	②利用したことがない			無回答
		あれば利用したいと思う	あっても利用したいと思わない	利用したいかわからない	
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(図書館、コミュニティセンターなど)	64.0	12.9	12.9	9.8	0.3
b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(こども食堂など)	9.1	32.5	24.3	33.8	0.3
c) 勉強を無料でみてくれる場所	5.0	44.8	23.7	26.2	0.3
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	7.3	17.7	38.8	36.0	0.3

問16 問15で、1つでも「①利用したことがある」と答えた人にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。[1～8については、あてはまるものすべて]

『居場所』を利用したことによる変化については、「特に変化はない」が32.4%で最も多くなっています。

変化があった内容では、「ほっとできる時間が増えた」が25.9%で最も多く、次に「生活の中で楽しいことが増えた」が25.0%、「勉強する時間が増えた」が22.7%となっています。

図 『居場所』を利用したことによる変化



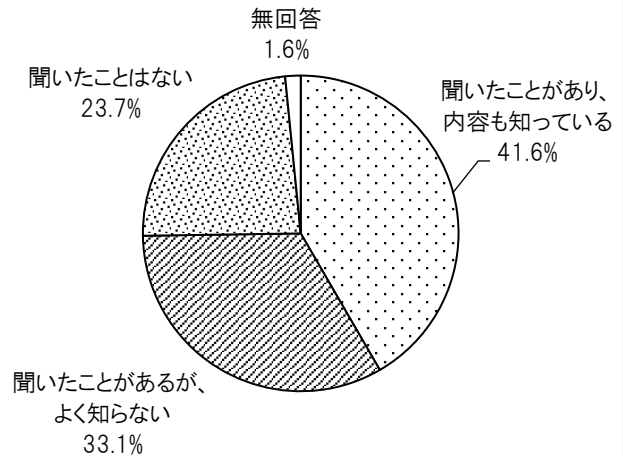
(5) ヤングケアラーの認知状況

問17 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。[1つ]

ヤングケアラーという言葉については、「聞いたことがあります、内容も知っている」が41.6%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が33.1%、「聞いたことはない」が23.7%、「聞いたことはない」が23.7%となっています。

図 ヤングケアラーの認知状況

(回答者総数：317)



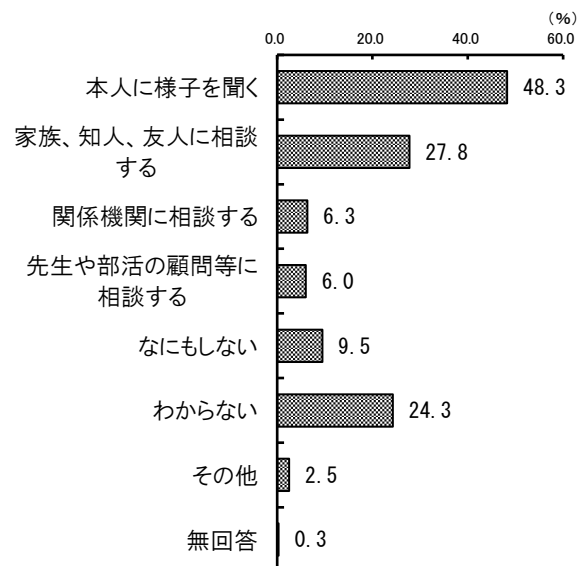
(6) ヤングケアラーの友人への対応

問18 あなたの周りにヤングケアラーと思われる友人がいた場合、どのように対応しますか。[あてはまるものすべて]

ヤングケアラーと思われる友人がいた場合、どのように対応するかについては、「本人に様子を聞く」が48.3%で最も多く、次に「家族、知人、友人に相談する」が27.8%となっています。また、「わからない」が24.3%となっています。

図 ヤングケアラーの友人への対応

(回答者総数：317)



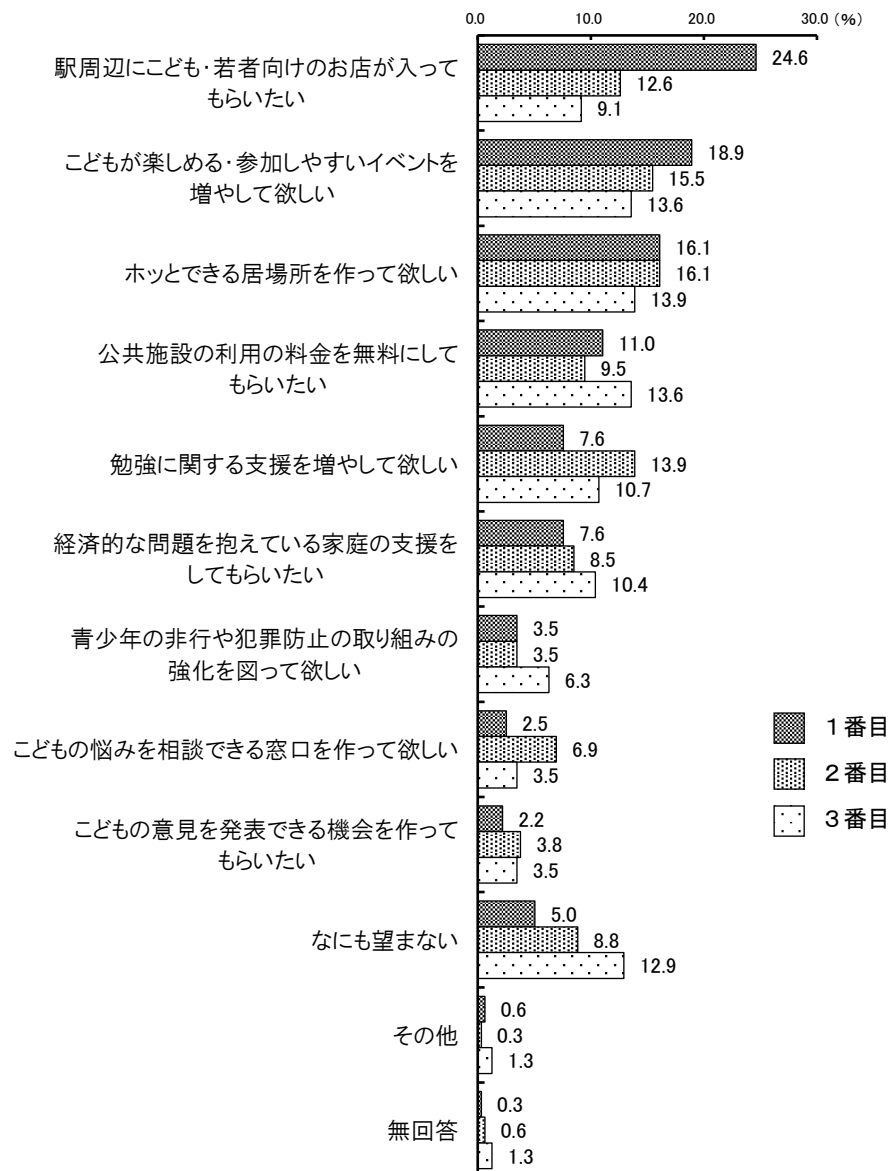
(7) こども・若者施策への希望

問19 あなたは、どのようなこども・若者の施策を望みますか。次から1番から3番までえらんでください。

どのようなこども・若者の施策を望むかについて、まず1番目に望むものとしては、「駅周辺にこども・若者向けのお店が入ってもらいたい」が24.6%で最も多く、次に「こどもが楽しめる・参加しやすいイベントを増やして欲しい」が18.9%、「ホッとできる居場所を作って欲しい」が16.1%となっています。また、2番目に望む中で「勉強に関する支援を増やして欲しい」が13.9%、3番目に望む中で「公共施設の利用の料金を無料にしたい」が13.6%となっています。

図 こども・若者施策への希望

(回答者総数：317)



(8) 自由意見

問20 最後になにかご意見がありましたらご自由にご記入ください。

(記入あり 15人)

主な内容
<ul style="list-style-type: none">○近隣地域にもう少し公共施設を増やしてほしい。○こもれびのように自習できる場所、勉強が自由にできる施設がほしいです。○市内にテーマパークや大型商業施設がほしい。○無料で使えるバス、交通をよくほしい。○虐待された子どもなどにメンタルケアなどをおこなってほしい。○自転車登校ができるようにしてほしい。○白い靴は泥汚れが目立つし、真っ白な靴を探すのが大変なので、古い考え方の決まりを無くしてほしい。○制服はテストか登下校しか着ないのに高すぎるので、安くしてほしい。○増税などでさらに少子化が進んでる気がする。○3人以上の子どもを扶養している世帯は大学無償化という方針がありましたが、3人いたらいちばん下の子の学費が4年間無償化されない。○子どもの意見を聞いて、実際にその意見などに取り組む機会を設けてほしい。

第4章 子どもの生活に関する実態調査－保護者

第4章 子どもの生活に関する実態調査－保護者

1. 回答者の基本属性

(1) 続柄

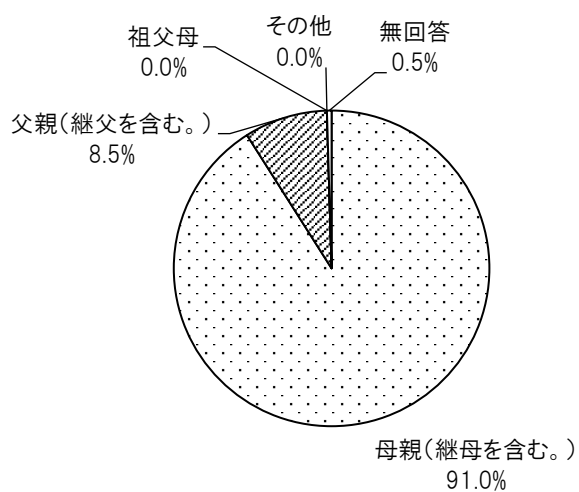
問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※ この調査で「お子さん」とは、調査対象となる中学2年生のお子さんのことをいいます。以下同じ。

回答者の続柄については、「母親（継母を含む。）」が91.0%、「父親（継父を含む。）」が8.5%となっています。

図 続柄

(回答者総数：211)



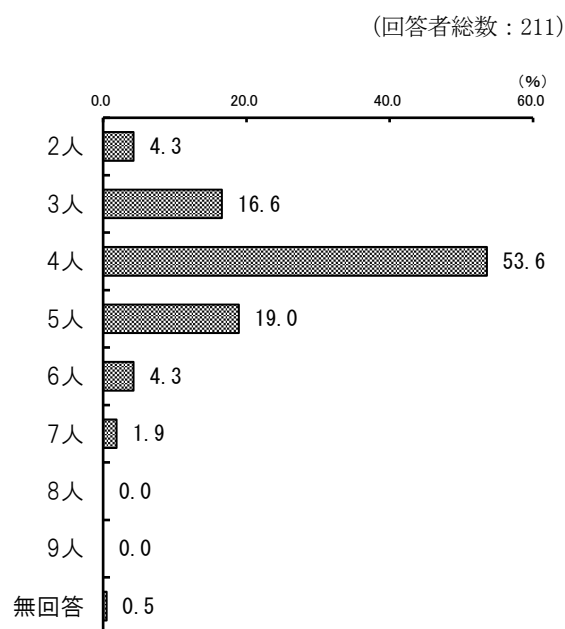
(2) 家族の人数

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む。）を教えてください。単身赴任中の方は含めないでください。

【人数を記入】（ ）人

家族の人数については、「4人」が53.6%で最も多く、次に「5人」が19.0%、「3人」が16.6%となっています。

図 家族の人数

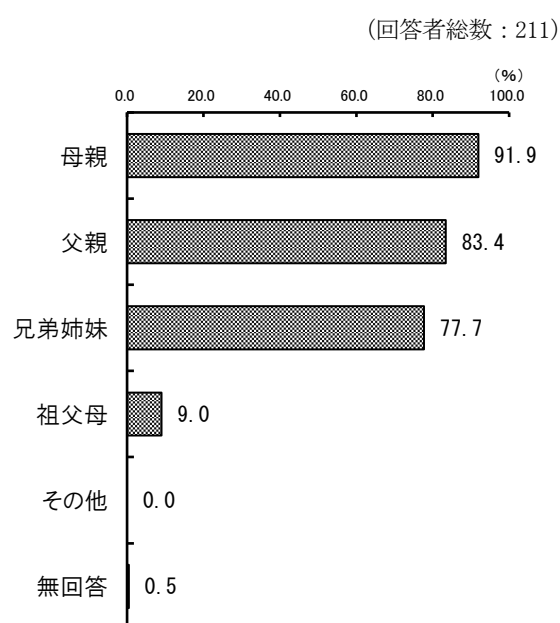


(3) 同居家族

問3 前の質問で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。（あてはまるものすべてに○）

同居家族については、「母親」が91.9%、「父親」が83.4%、「兄弟姉妹」が77.7%、「祖父母」が9.0%となっています。

図 同居家族



(4) 親の婚姻状況と養育費

問4 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

問5 前の質問で「2 離婚」と答えた人にお聞きします。離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

親の婚姻状況については、「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」が92.9%、「離婚」が4.7%となっています。

離婚と回答した人に、離婚相手との養育費の取り決めや受け取りの状況をたずねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が70.0%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が20.0%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が10.0%となっています。

図 親の婚姻状況

(回答者総数：211)

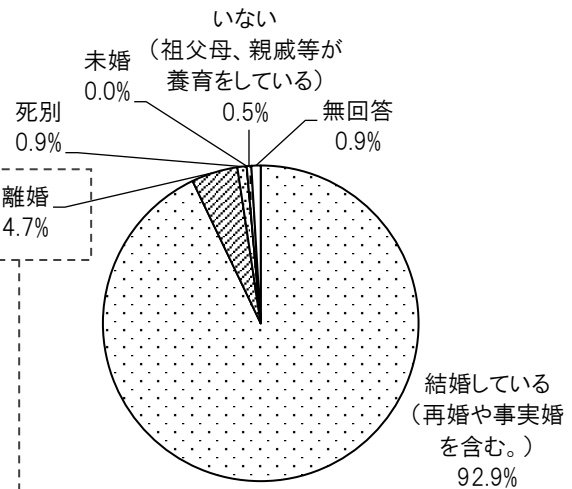
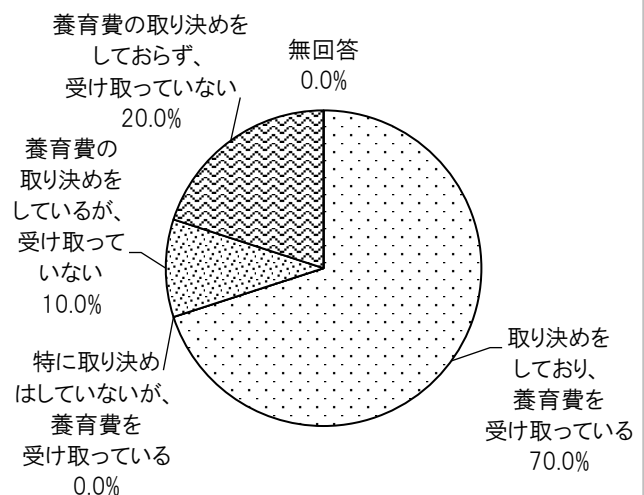


図 養育費

(回答者総数：10)



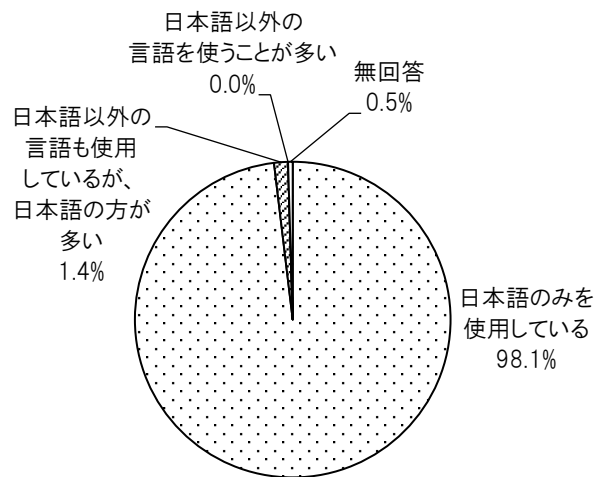
(5) 家庭での言語

問6 ご家庭ではどのくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

家庭の中で日本語以外の言語を使用しているかについては、「日本語のみを使用している」が98.1%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.4%となっています。

図 家庭での言語

(回答者総数：211)



(6) こころの状態

問7 次の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

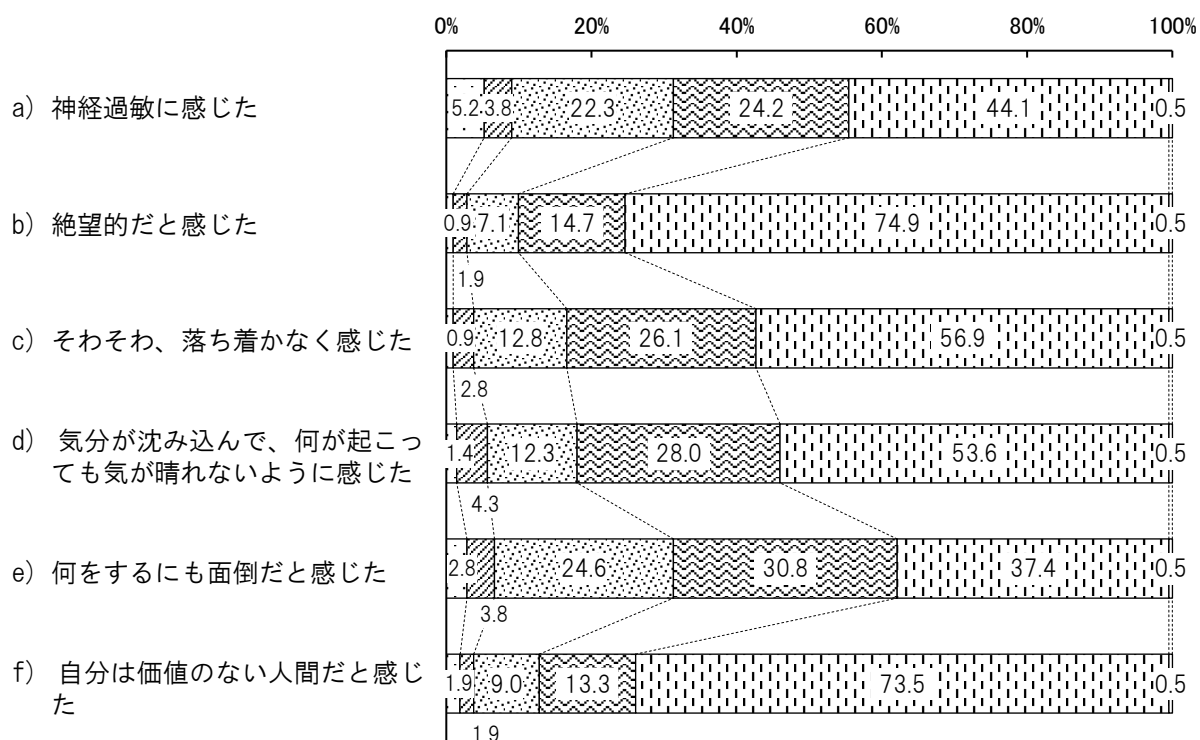
こころの状態について項目別にたずねました。その結果、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」とした割合が比較的多かったのは、『神経過敏に感じた』や『何をするにも面倒だと感じた』といった項目です。

また、6項目の回答結果を点数化して足し合わせ、スコアを算出しました(0～24点)。「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は5.7%でした。

図 こころの状態

(回答者総数：211)

□ いつも □ たいてい □ ときどき □ 少しだけ □ まったくない □ 無回答



点数表

項目	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	4点	3点	2点	1点	0点
b) 絶望的だと感じた	4点	3点	2点	1点	0点
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	4点	3点	2点	1点	0点
d) 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた	4点	3点	2点	1点	0点
e) 何をするにも面倒だと感じた	4点	3点	2点	1点	0点
f) 自分は価値のない人間だと感じた	4点	3点	2点	1点	0点

2. 子どもの両親について

(1) 親の最終学歴

問8 お子さんのご両親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（母親、父親それぞれについて、あてはまるもの1つに〇）

母親の最終学歴については、「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が46.4%、「大学またはそれ以上」が28.0%、「高校(高等部)まで」が21.3%となっています。

父親の最終学歴については、「大学またはそれ以上」が51.7%、「高校(高等部)まで」が25.6%、「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が16.6%となっています。

図 母親の最終学歴

(回答者総数：211)

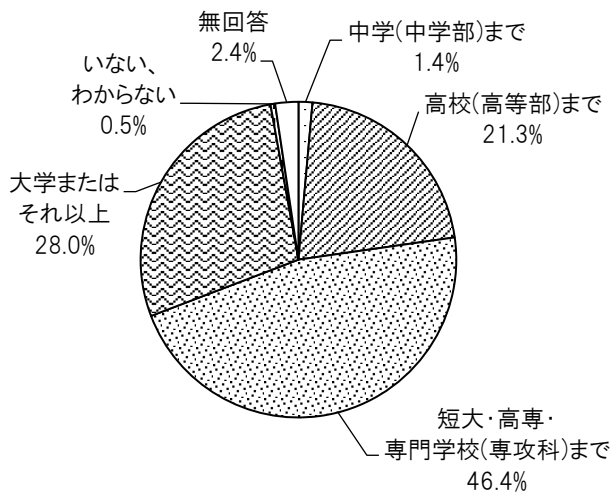
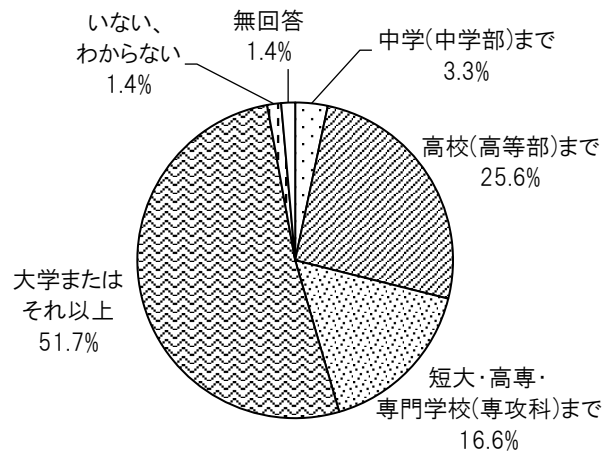


図 父親の最終学歴

(回答者総数：211)



(2) 親の就労状況

問9 お子さんのご両親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。
(母親、父親それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

問10 前の質問で「働いていない」と答えた人にお聞きします。働いていない最も主な理由を教えてください。(母親、父親それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

母親の就労状況については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が52.1%で最も多く、次に「正社員・正規職員・会社役員」が23.7%となっています。また、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」は12.3%で、働いていない理由は、「子育てを優先したいため」が42.3%で最も多く、次に「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が30.8%となっています。

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が86.3%で最も多く、「自営業(家族従業者、内職、自営業、フリーランスを含む。)」が9.0%となっています。

図 母親の就労状況

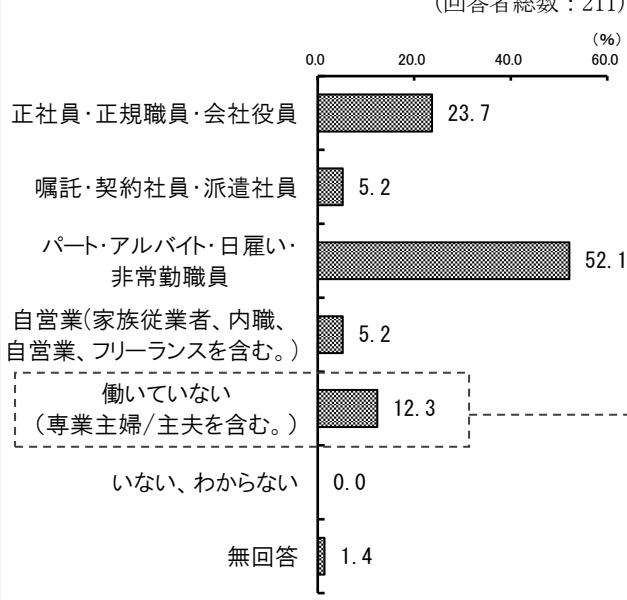


図 母親の働いていない理由

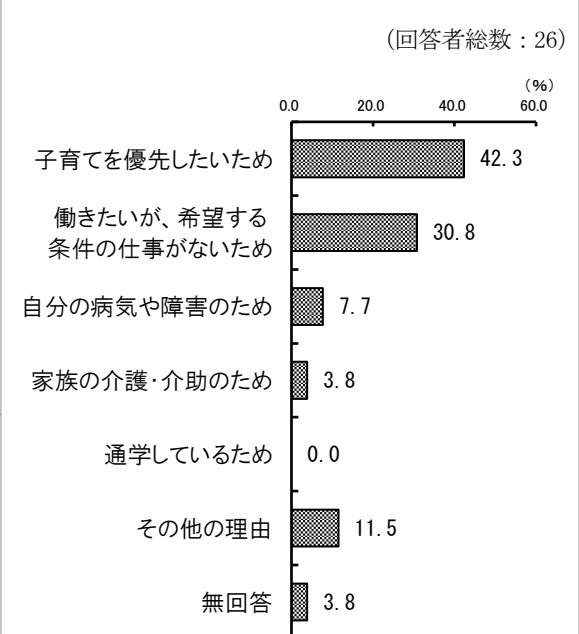
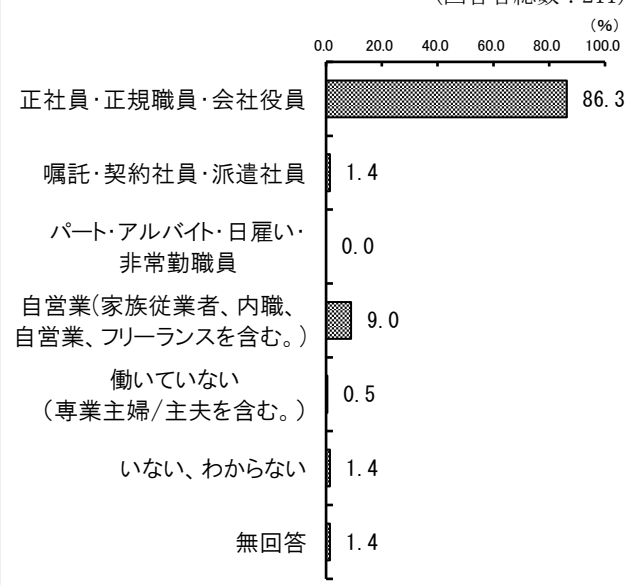


図 父親の就労状況



3. 子どものこれまでの経験について

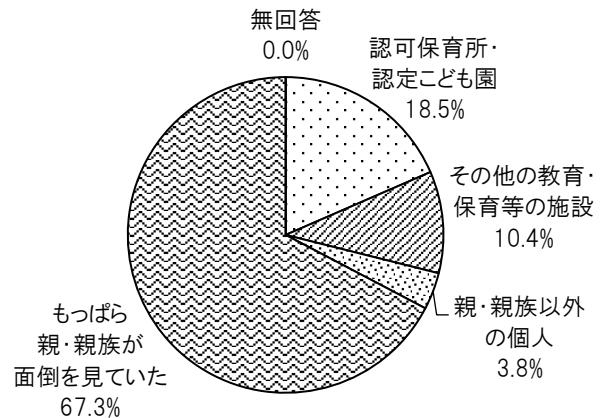
(1) 0～2歳に通っていた教育・保育施設等

問11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等については、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が67.3%となっています。通っていた施設等では、「認可保育所・認定こども園」が18.5%、「その他の教育・保育等の施設」が10.4%となっています。

図 0～2歳に通っていた教育・保育施設等

(回答者総数：211)



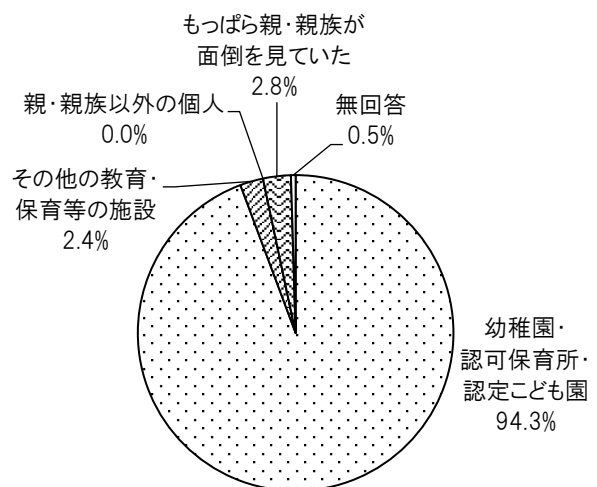
(2) 3～5歳に通っていた教育・保育施設等

問12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等については、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が94.3%となっています。

図 3～5歳に通っていた教育・保育施設等

(回答者総数：211)



4. 子どもの教育などについて

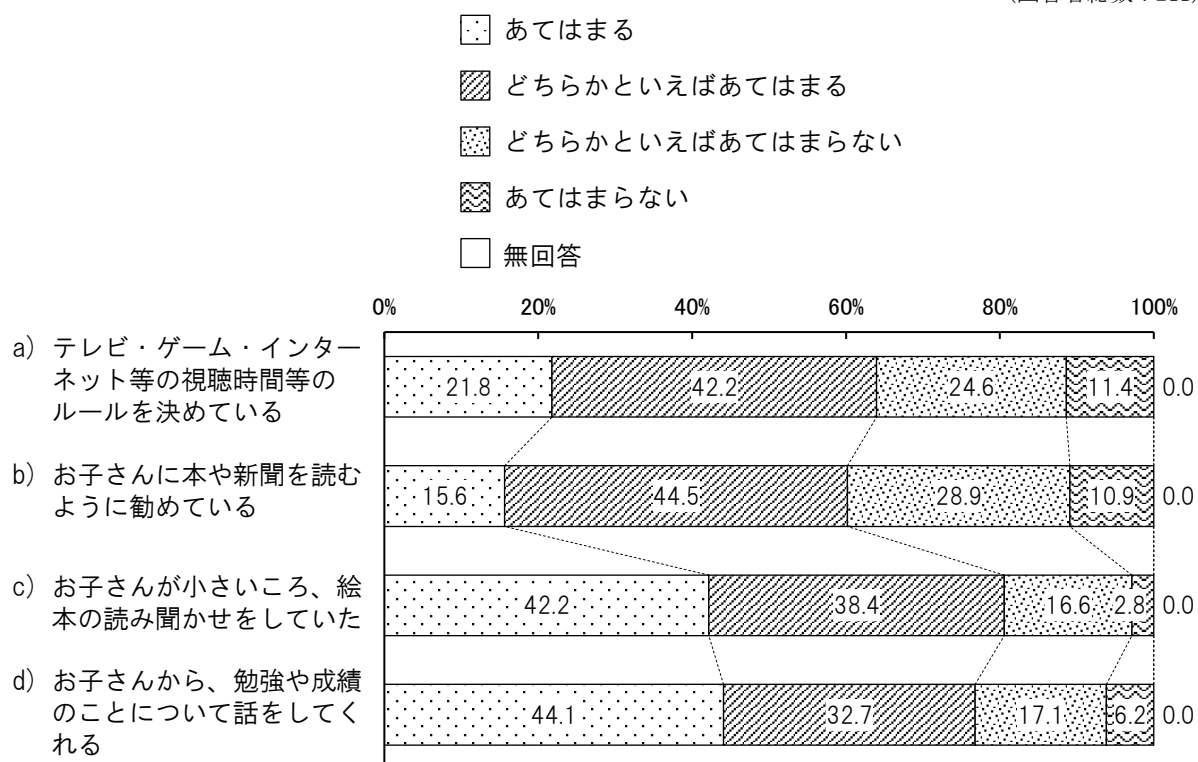
(1) 子どもとの関わり方について

問13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

保護者と子どもとの関わり方について、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合をみると、『テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』と『お子さんに本や新聞を読むように勧めている』では約6割、『お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた』と『お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる』では約8割となっています。

図 子どもとの関わり方について

(回答者総数：211)



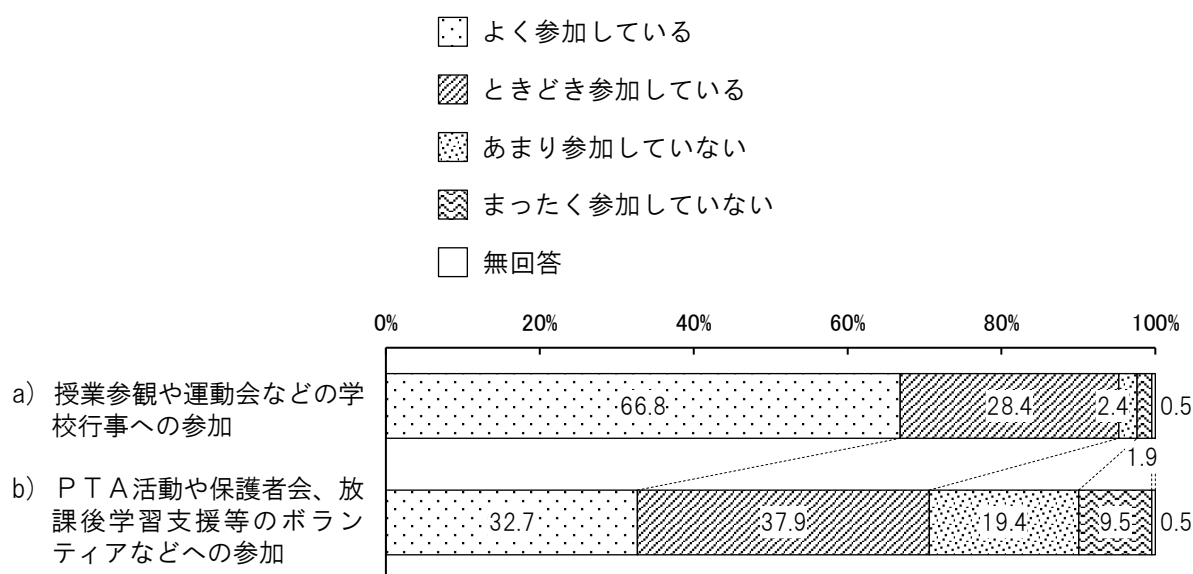
(2) 学校等との関わり方について

問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

保護者と学校との関わり方について、「よく参加している」と「ときどき参加している」の割合をみると、『授業参観や運動会などの学校行事への参加』では9割を超えて多く、『PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加』では約7割となっています。

図 学校等との関わり方について

(回答者総数：211)



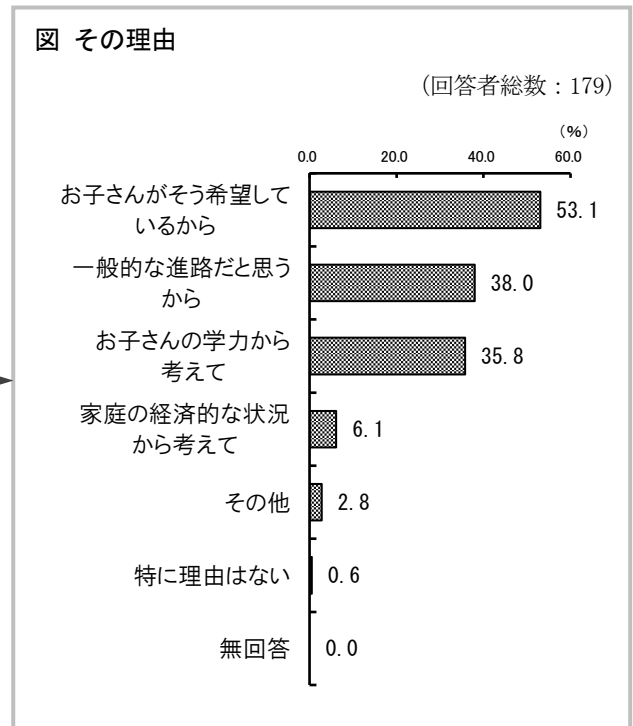
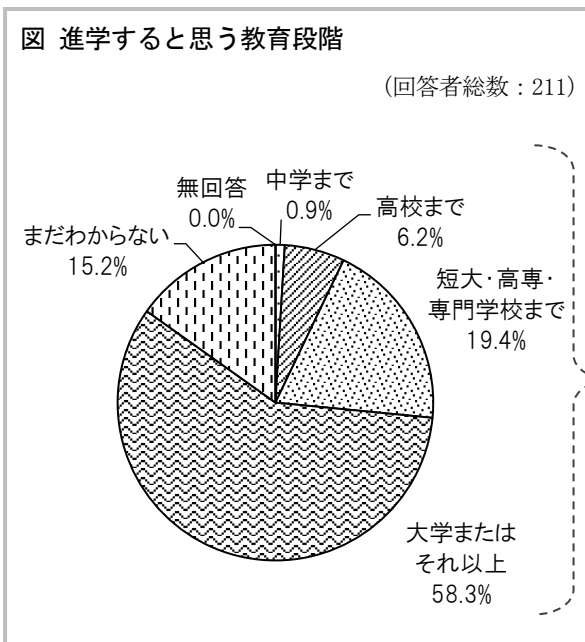
(3) 子どもの将来の教育段階

問15 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

問16 前の質問で1～4(「1. 中学まで」、「2. 高校まで」、「3. 短大・高専・専門学校まで」、「4. 大学またはそれ以上」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。(1～6について、あてはまるものすべてに○)

子どもの将来の教育段階については、「大学またはそれ以上」が58.3%、「短大・高専・専門学校まで」が19.4%となっています。また、「まだわからない」は15.2%となっています。

教育段階の理由については、「お子さんがそう希望しているから」が53.1%で最も多く、次に「一般的な進路だと思うから」が38.0%、「お子さんの学力から考えて」が35.8%となっています。

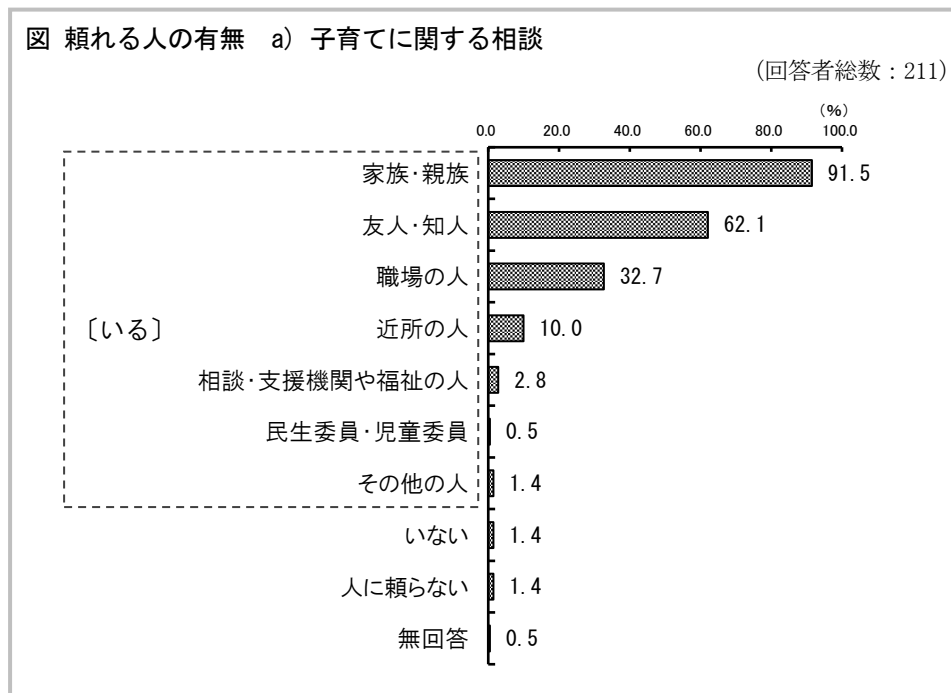


5. 現在の暮らしや生活について

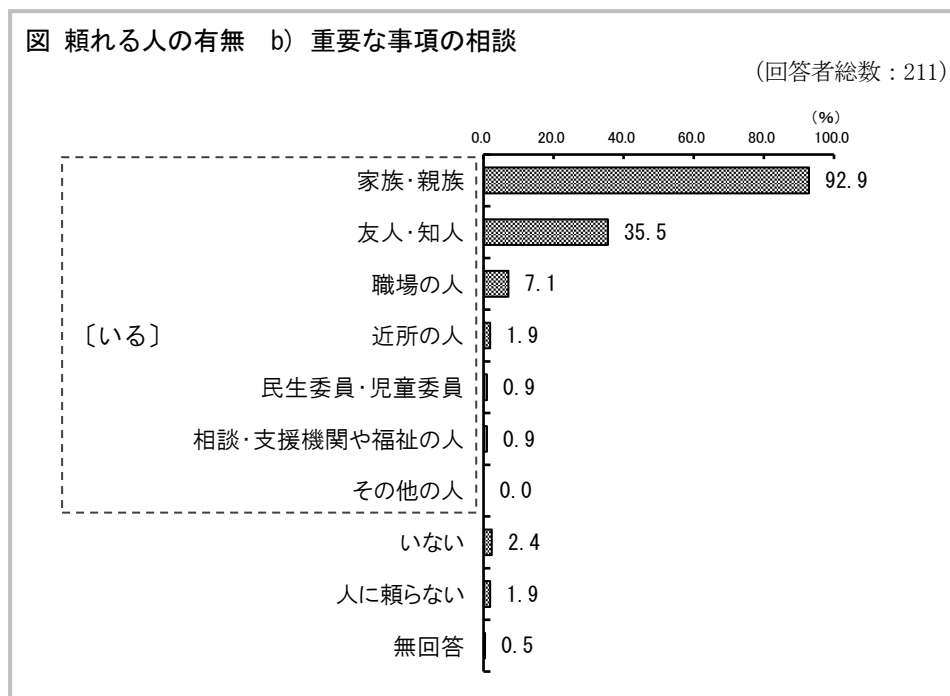
(1) 頼れる人の有無

問17 あなたは次にあげる事柄で頼れる人はいますか。(a~cそれぞれについて、1~9のあてはまるものすべてに○)

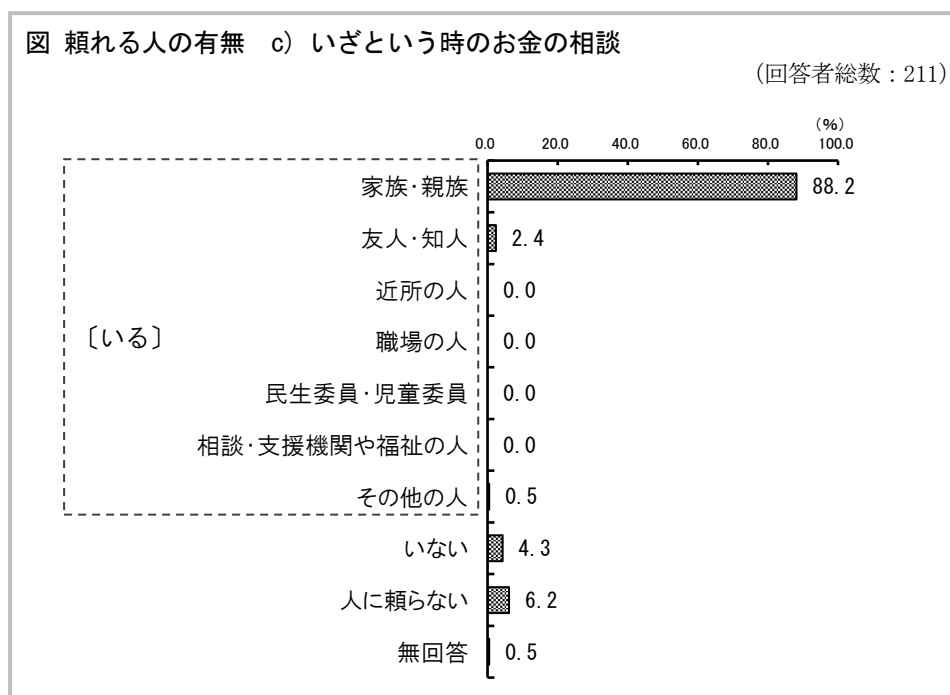
子育てに関する相談で頼れる人については、「家族・親族」が91.5%で最も多く、次に「友人・知人」が62.1%、「職場の人」が32.7%となっています。また、「いない」と「人に頼らない」は同率で1.4%となっています。



重要な事項の相談で頼れる人については、「家族・親族」が92.9%で最も多く、次に「友人・知人」が35.5%、「職場の人」が 7.1%となっています。また、「いない」は 2.4%、「人に頼らない」は 1.9%となっています。



いざという時のお金の相談で頼れる人については、「家族・親族」が88.2%で最も多くなっています。また、「いない」は 4.3%、「人に頼らない」は 6.2%となっています。



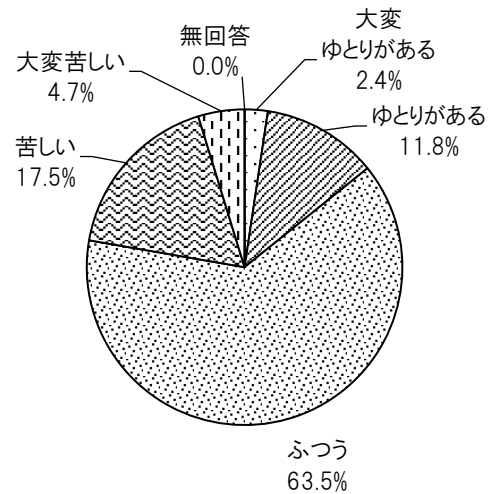
(2) 暮らしの状況

問18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況については、「ふつう」が63.5%で多くなっています。「大変ゆとりがある」は2.4%、「ゆとりがある」は11.8%で、暮らしにゆとりがあるとした割合は約14%となっています。一方、「苦しい」は17.5%、「大変苦しい」は4.7%で、暮らしが苦しいとした割合は約2割となっています。

図 暮らしの状況

(回答者総数：211)



(3) 世帯の年間収入

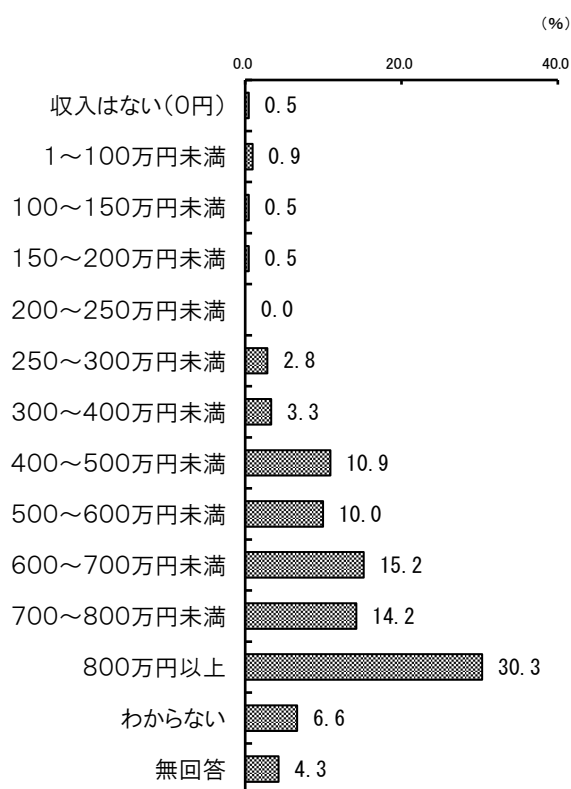
問19 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○、収入については、※を参考にしてください。)

※ 収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の勤め先収入(定期収入、賞与等)、事業所得(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)、公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)、農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)、財産所得(預貯金利子、家賃収入等)、その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)を含みます。

世帯全体のおおよその年間収入については、「800万円以上」が30.3%、「600～700万円未満」が15.2%、「700～800万円未満」が14.2%となっています。これらを合わせると、600万円以上の割合は約6割です。一方、300万円未満の割合は約5%となっています。

図 世帯の年間収入

(回答者総数：211)



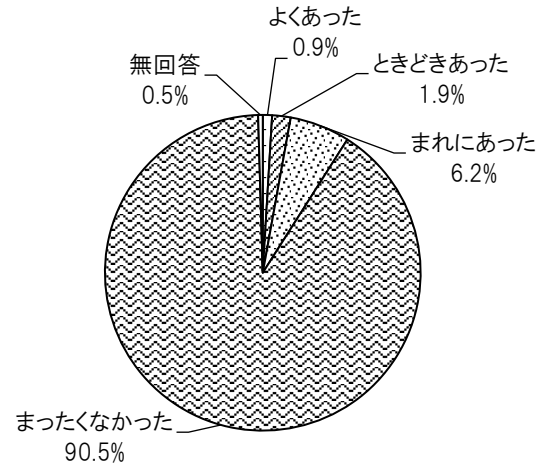
(4) 食料品が買えなかったこと

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に、お金が足りなくて、食料品が買えないことがあったかについては、「よくあった」が0.9%、「ときどきあった」が1.9%、「まれにあった」が6.2%となっています。また、「まったくなかった」は90.5%となっています。

図 食料品が買えなかったこと

(回答者総数：211)



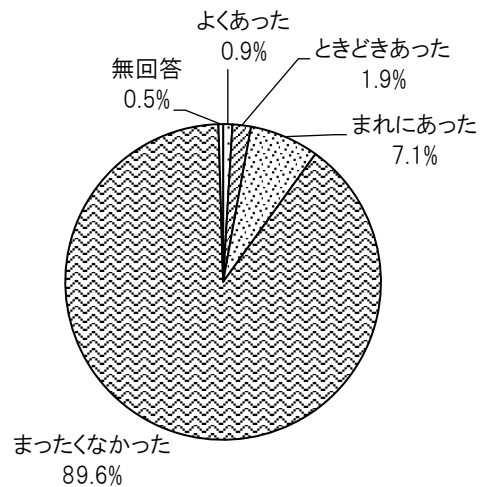
(5) 衣服が買えなかったこと

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に、お金が足りなくて、衣服が買えないことことがあったかについては、「よくあった」が0.9%、「ときどきあった」が1.9%、「まれにあった」が7.1%となっています。また、「まったくなかった」は89.6%となっています。

図 衣服が買えなかったこと

(回答者総数：211)



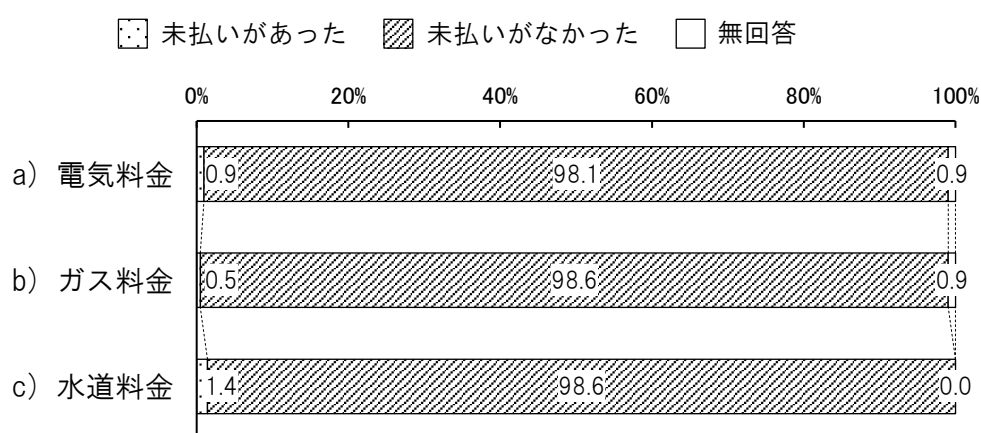
(6) 公共料金が未払いになったこと

問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(a～cについてそれぞれあてはまるもの1つに○)

過去1年の間に、経済的な理由で公共料金が未払いになったことがあったかについては、「未払いがあった」が、『電気料金』で0.9%、『ガス料金』で0.5%、『水道料金』で1.4%となっています。

図 公共料金が未払いになったこと

(回答者総数：211)



6. ヤングケアラーについて

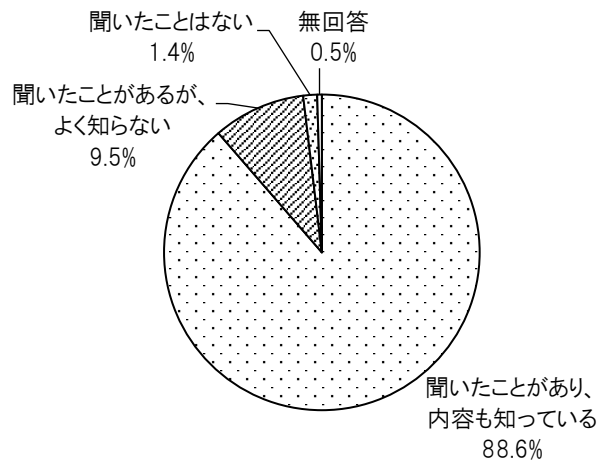
(1) ヤングケアラーの認知状況

問23 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

ヤングケアラーという言葉については、「聞いたことがあります、内容も知っている」が88.6%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が9.5%、「聞いたことはない」が1.4%となっています。

図 ヤングケアラーの認知状況

(回答者総数：211)



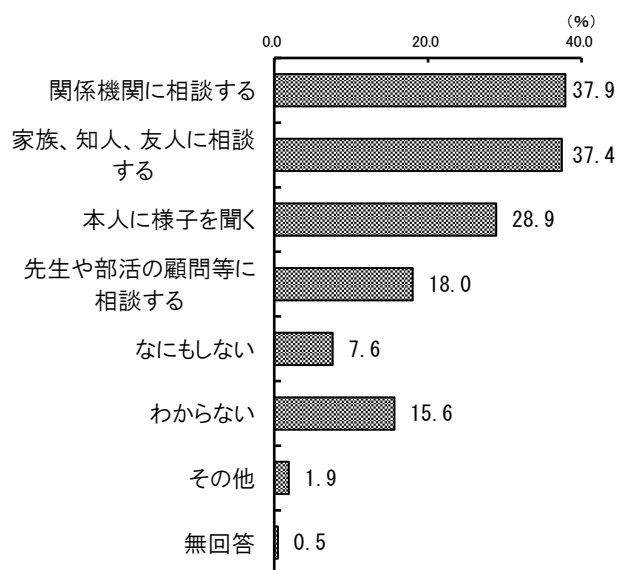
(2) ヤングケアラーのこどもに対する対応

問24 あなたの周りにヤングケアラーと思われるこどもがいた場合、どのように対応しますか。(あてはまるものすべてに○)

周りにヤングケアラーと思われるこどもがいた場合、どのように対応するかについては、「関係機関に相談する」が37.9%で最も多く、次に「家族、知人、友人に相談する」が37.4%、「本人に様子を聞く」が28.9%となっています。また、「わからない」は15.6%、「なにもしない」は7.6%となっています。

図 ヤングケアラーのこどもに対する対応

(回答者総数：211)



7. 公的支援の利用状況等について

(1) 支援制度の利用状況

問25 あなたのご家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「③利用したことがない」の場合、その理由は何ですか。〈注釈〉を参考にして回答してください。

(a～eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

〈注釈〉

就学援助：経済的理由によりこどもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。

生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)

支援制度の利用状況は、「利用している」が『児童扶養手当』では 9.0%、『就学援助』では 3.3%となっています。「現在利用していないが、以前利用したことがある」が『就学援助』では 2.8%となっています。また、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」は、割合は少ないものの回答がありました。

表 支援制度の利用状況

(回答者総数：211) 単位：%

	①現在利用している	②現在利用していないが、以前利用したことがある	③利用したことがない					無回答
			制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思っから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	その他の理由	
a) 就学援助	3.3	2.8	78.7	0.9	0.5	0.9	8.5	4.3
b) 生活保護	0.0	0.0	83.4	1.4	0.0	0.9	10.0	4.3
c) 生活困窮者の自立支援相談窓口	0.0	0.0	81.5	1.9	0.0	0.5	11.4	4.7
d) 児童扶養手当	9.0	0.9	74.9	0.5	0.5	0.0	10.0	4.3
e) 母子家庭等就業・自立支援センター	0.0	0.0	77.7	1.9	0.9	0.9	13.3	5.2

(2) 自由意見

問26 最後になにかご意見がありましたらご自由にご記入ください。

(記入あり 13人)

主な内容

- コロナは5類になりましたが、まだ多くの制限が子どもたちにかかっています。のびのび学べる環境を取り戻して行って欲しいと思います。
- コロナウィルスの流行をきっかけに、今まで同じように繰り返されてきた学校やPTA、地域での活動が見直され、できるときにできる範囲で無理のない活動をする事になりました。家庭環境や家族のあり方が多様化して、時代の変化もあり、今まで継続してきたことをより良く変えていく勇気と必要性に気づけたように思います。
- 義務教育後も長くサポートしていただける仕組みがあれば、難しい思春期を迎えた子どもたちとの生活の手助けになると思います。
- 公園の水道が砂で詰まり、溢れていたのも子どもと一緒にそうじをしました。そのような時は市の人が対応してくださるのでしょうか。
- 公園にトイレを設置してほしいです。
- 収入があったとしても、子どもが多いと余裕はない。収入の額面だけでの判断はやめていただきたい。
- シングルである人の未就学児の保育園受け入れは必要であると思います。前年度の収入が手当等の社会資源利用の条件になってくるため、シングルファーザーだと資源の利用ができない。
- 塾に行かずに勉強をがんばって、成績も上がってきているが、大学に行かせるお金がないので、どうしたらいいか知りたいです。
- 共働き＝生活にゆとりがある、ひとり親＝苦しい、もすべてではないと思います。給食費無償化を目標にしている所もあると思いますが、事実上値上げ、保育料もしっかり納めたこの世代に補助がなく厳しい。
- 収入的には上がったが、物価高騰で節約する部分や以前はできた貯金などができなくなってきた。今は生活出来ても、将来困窮するのではと不安を感じる。
- 他では、給付金などがある市が多いのに、白岡市はそういうものが1回もない。
- 調査とありますが、どのようなことをお調べですか。個人情報など書いていて不安になります。特に携帯やスマホでの調査もお断りしたいです。

第5章 こども・若者の意識と生活に関する調査

第5章 こども・若者の意識と生活に関する調査

1. 回答者の基本属性

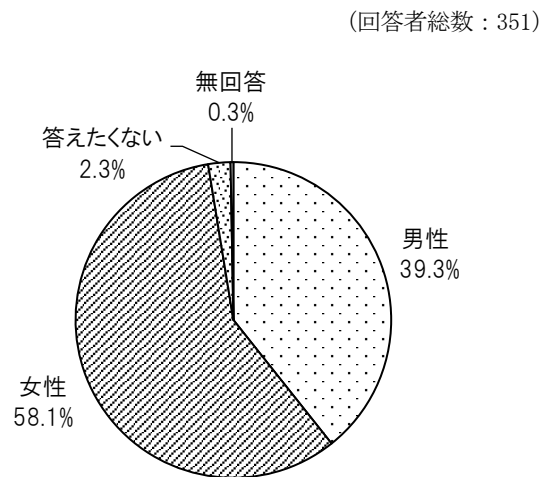
(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。〈○を1つ〉

※身体的な性別、またはご自身が思われる性別を選択してください。

性別については、「男性」が39.3%、「女性」が58.1%、「答えたくない」が2.3%となっています。

図 性別

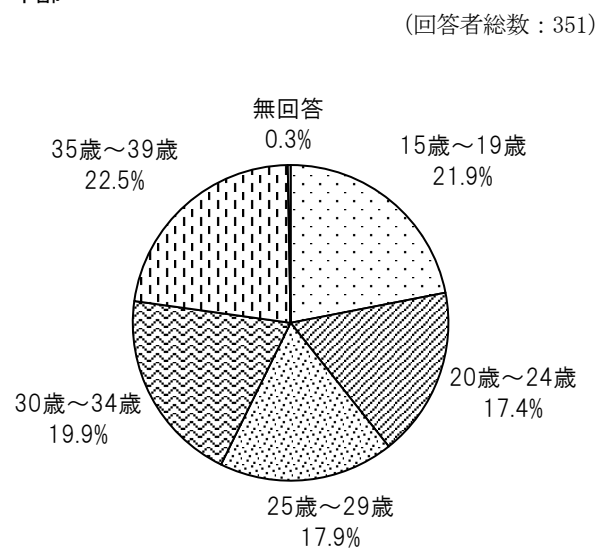


(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。〈○を1つ〉

年齢については、「15歳～19歳」が21.9%、「20歳～24歳」が17.4%、「25歳～29歳」が17.9%、「30歳～34歳」が19.9%、「35歳～39歳」が22.5%となっています。

図 年齢

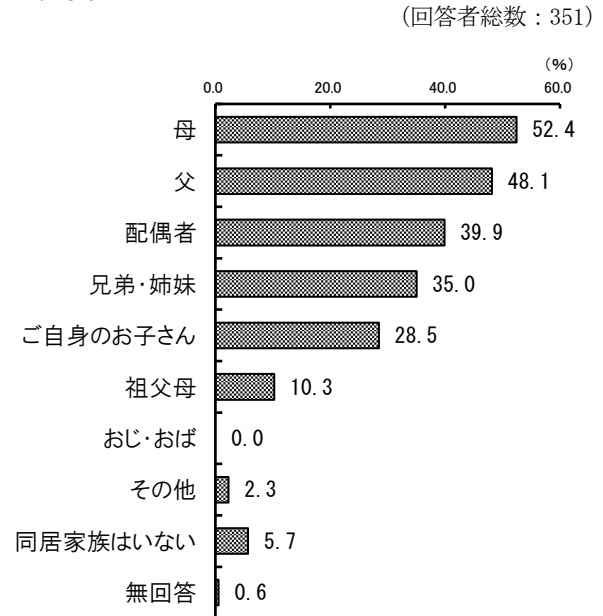


(3) 同居家族

問3 同居している家族についてうかがいます。あなたと同居している方をお答えください。
〈あてはまるものに○〉

同居家族については、「母」が52.4%で最も多く、次に「父」が48.1%、「配偶者」39.9%となっています。また、「兄弟・姉妹」は35.0%、「ご自身のお子さん」は28.5%となっています。「同居家族はいない」は5.7%です。

図 同居家族

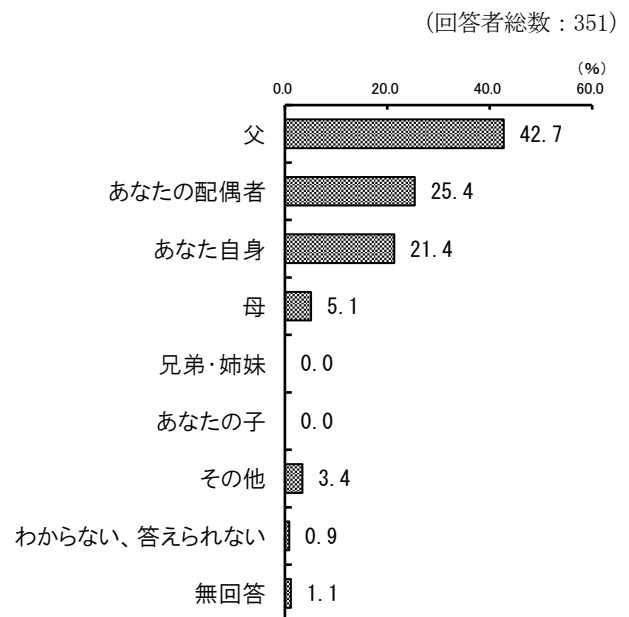


(4) 主に生計を支えている人

問4 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている方をお答えください。〈○を1つ〉

主に生計を支えている人については、「父」が42.7%で最も多く、次に「あなたの配偶者」が25.4%、「あなた自身」が21.4%となっています。

図 主に生計を支えている人

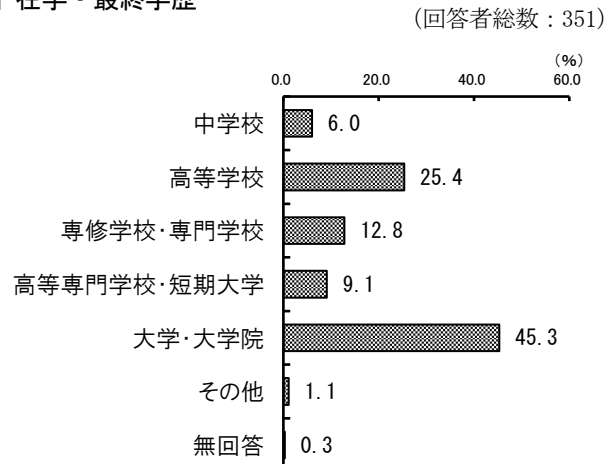


(5) 在学・最終学歴

問5 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。〈〇を1つ〉

在学・最終学歴については、「大学・大学院」が45.3%で最も多く、次に「高等学校」が25.4%、「専修学校・専門学校」が12.8%となっています。

図 在学・最終学歴

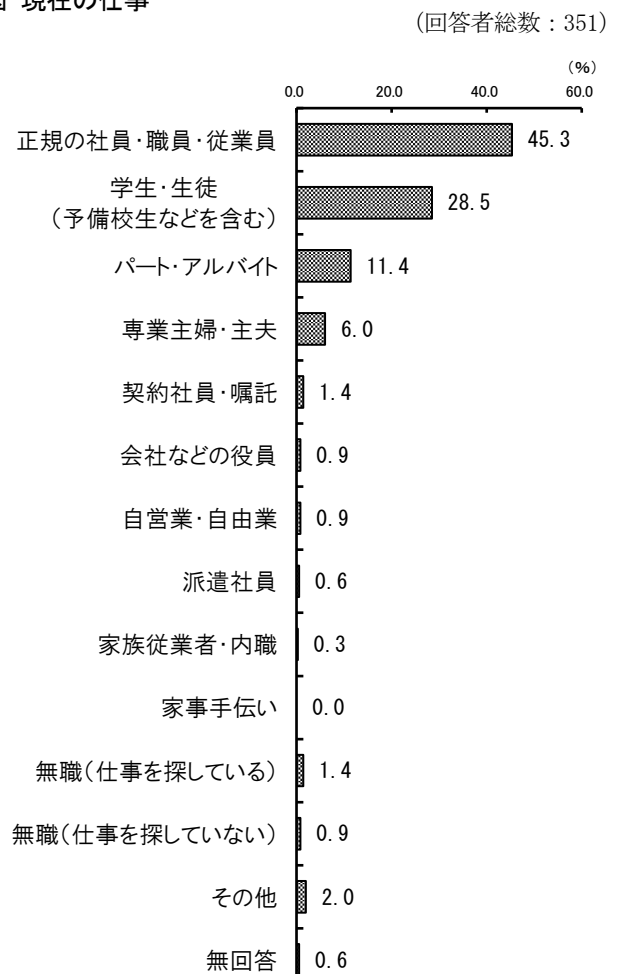


(6) 現在の仕事

問6 あなたの現在の仕事をお答えください。〈〇を1つ〉

現在の仕事については、「正規の社員・職員・従業員」が45.3%で最も多く、次に「学生・生徒(予備校生などを含む)」が28.5%、「パート・アルバイト」が11.4%となっています。

図 現在の仕事



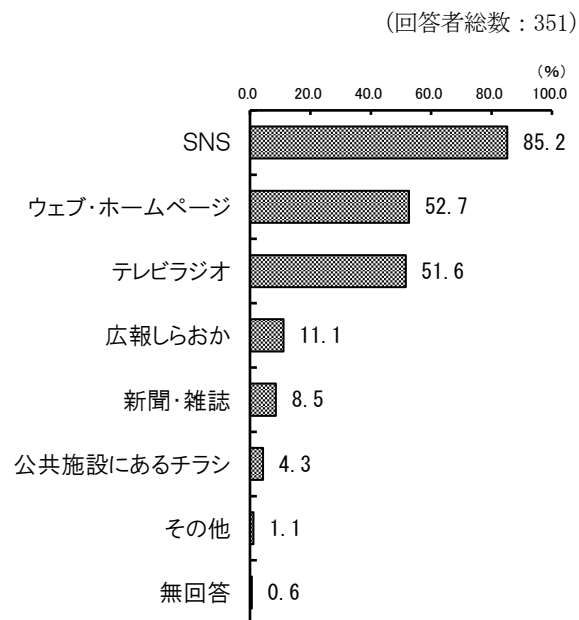
2. 日頃の意識と生活について

(1) 情報の入手先

問7 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。<いくつでも○>

ふだんの情報の入手先については、「SNS」が85.2%、「ウェブ・ホームページ」が52.7%、「テレビラジオ」が51.6%となっています。

図 情報の入手先



(2) 自己認識

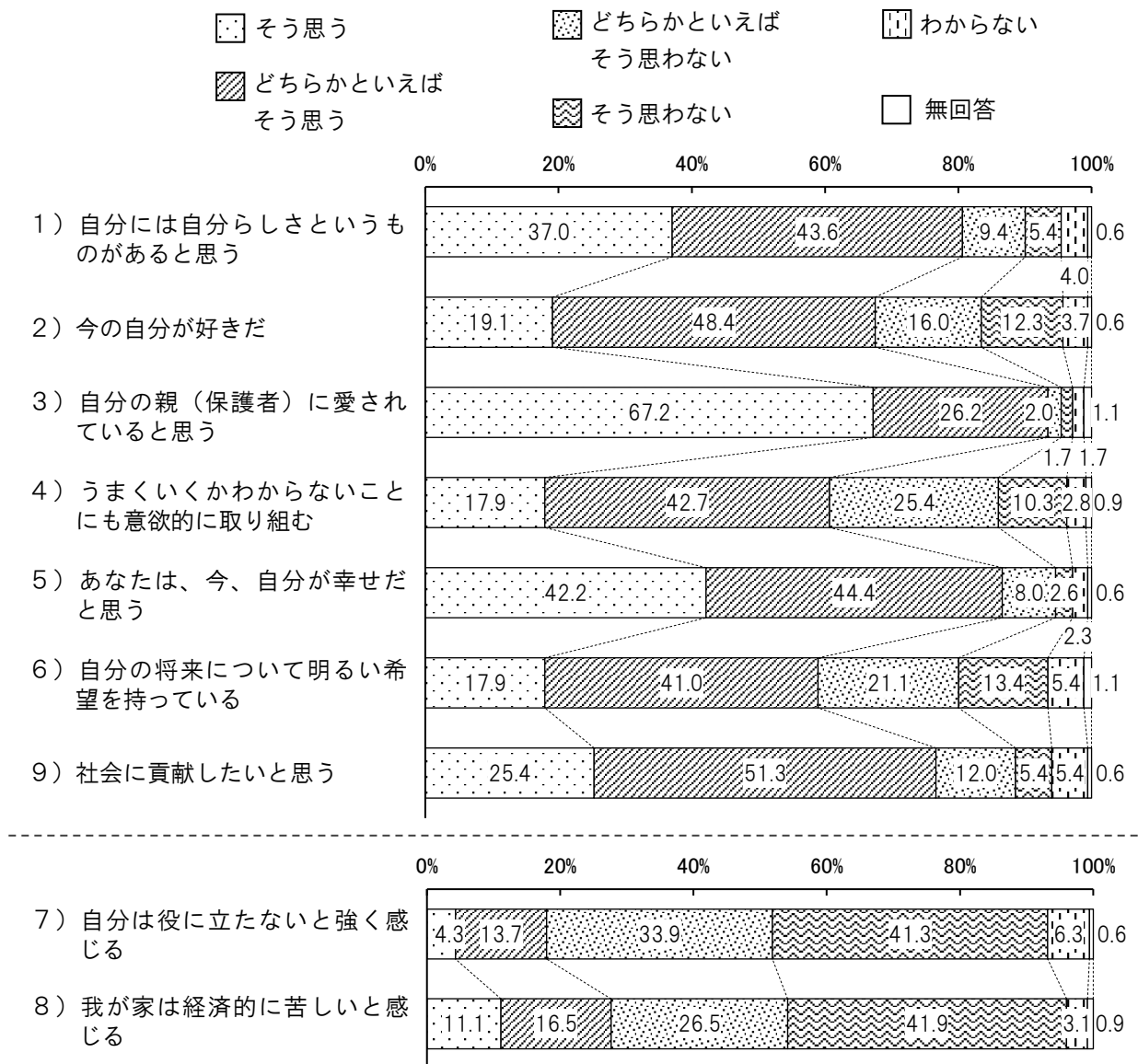
問8 あなたは、自分のことについてどう思いますか。自分の気持ちに最も近い番号を「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。

自己認識については、『自分の親（保護者）に愛されていると思う』では「そう思う」が67.2%で多く、「どちらかといえばそう思う」（26.2%）を合わせると9割以上が肯定的に思っています。また、『あなたは、今、自分が幸せだと思う』でも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると約9割となり多くなっています。

『自分は役に立たないと強く感じる』では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると8割近くになっています。

図 自己認識

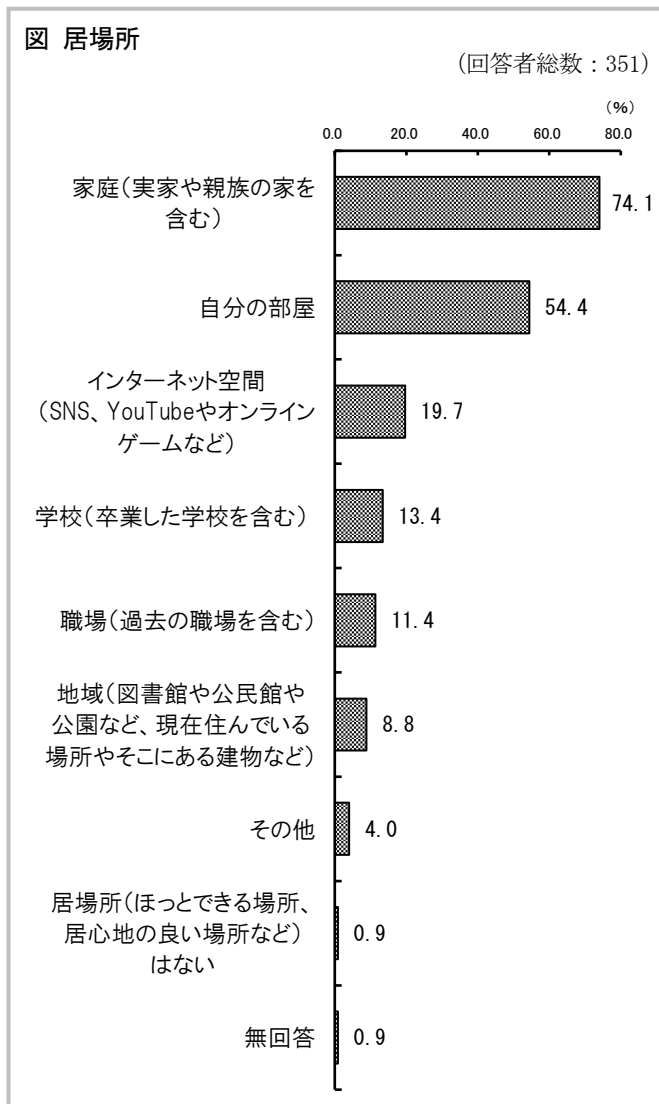
(回答者総数：317)



(3) 居場所

問9 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる居場所はどこですか。〈いくつでも〇〉

「ここに居たい」と感じる居場所については、「家庭（実家や親族の家を含む）」が74.1%で最も多く、次に「自分の部屋」が54.4%、「インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）」が19.7%となっています。



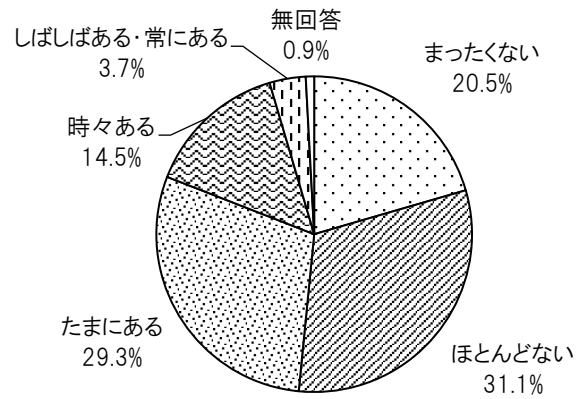
(4) 孤独感

問10 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。〈○を1つ〉

孤独感については、「まったくない」が20.5%、「ほとんどない」が31.1%、「たまにある」が29.3%、「時々ある」が14.5%、「しばしばある・常にある」が3.7%となっています。

図 孤独感

(回答者総数 : 351)



(5) 他者との関わり方

問11 あなたと他者（①「家族・親族」、②「学校で出会った友人」、③「職場・アルバイト関係の人※1」、④「地域の人※2」、⑤「インターネット上における人やグループ※3」）とのかかわりについて、どのようなものですか。次の表の1～7であてはまるものを選択してください<あてはまるものすべてに○>

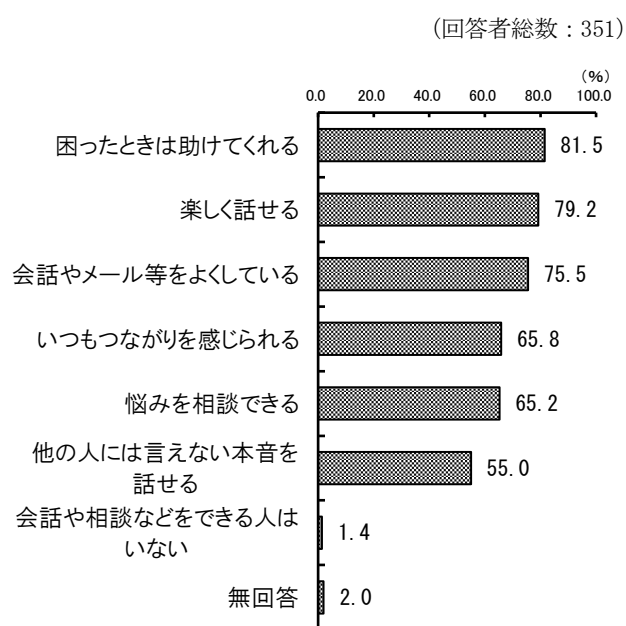
※1 現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など

※2 近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など

※3 実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ

家族・親族との関わり方については、「困ったときは助けてくれる」が81.5%で最も多く、次に「楽しく話せる」が79.2%、「会話やメール等をよくしている」が75.5%となっています。

図 他者との関わり方 ①家族・親族



学校で出会った友人との関わり方については、「楽しく話せる」が82.1%で最も多く、次に「会話やメール等をよくしている」が56.7%、「悩みを相談できる」が52.7%となっています。また、「会話や相談などをできる人はいない」は6.6%となっています。

職場・アルバイト関係の人との関わり方については、「楽しく話せる」が55.0%で最も多く、次に「困ったときは助けてくれる」が36.2%、「会話やメール等をよくしている」が34.8%となっています。また、「会話や相談などをできる人はいない」は13.1%となっています。

図 他者との関わり方 ②学校で出会った友人

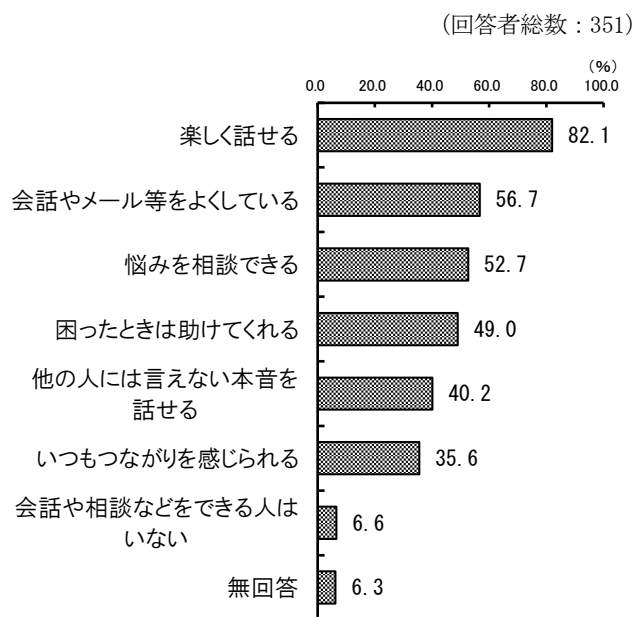
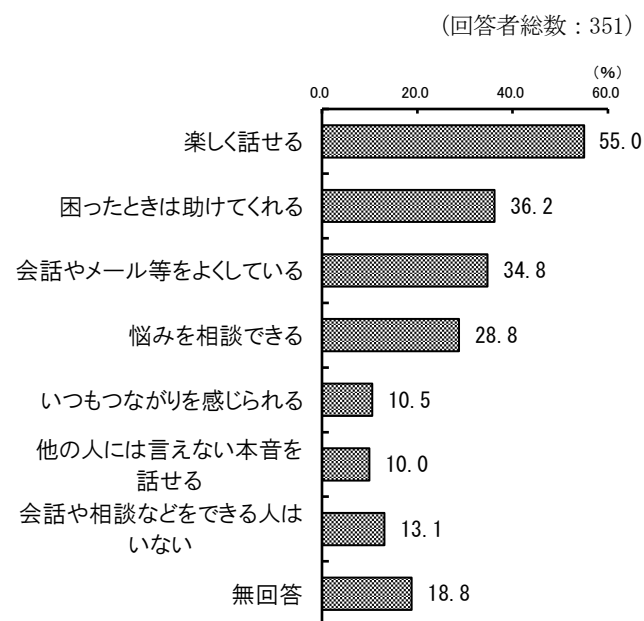


図 他者との関わり方 ③職場・アルバイト関係の人



地域の人との関わり方については、「会話や相談などをできる人はいない」が43.9%で最も多くなっています。また、「楽しく話せる」は26.2%、「困ったときは助けてくれる」は10.3%、「会話やメール等をよくしている」は7.1%となっています。

インターネット上における人やグループとの関わり方については、「会話や相談などをできる人はいない」が45.9%で最も多くなっています。また、「楽しく話せる」が26.8%、「会話やメール等をよくしている」は16.0%、「悩みを相談できる」は10.3%、「他の人には言えない本音を話せる」は8.0%、「いつもつながりを感じられる」は7.7%、「困ったときは助けてくれる」は5.1%、「会話や相談などをできる人はいない」は45.9%、「無回答」は21.7%となっています。

図 他者との関わり方 ④地域の人

(回答者総数：351)

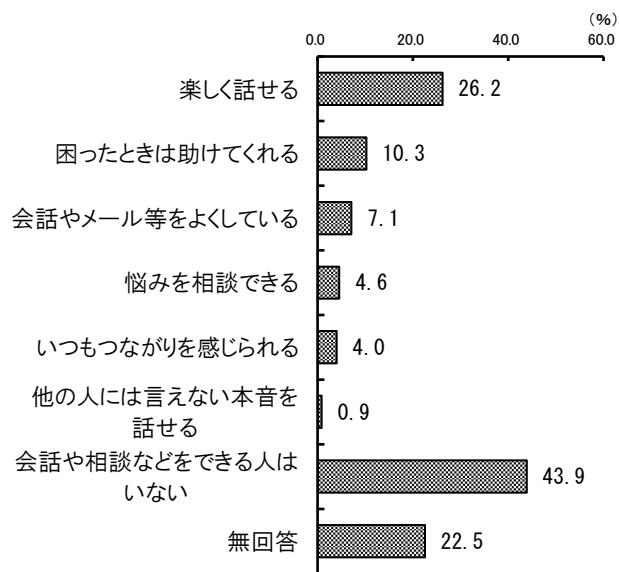
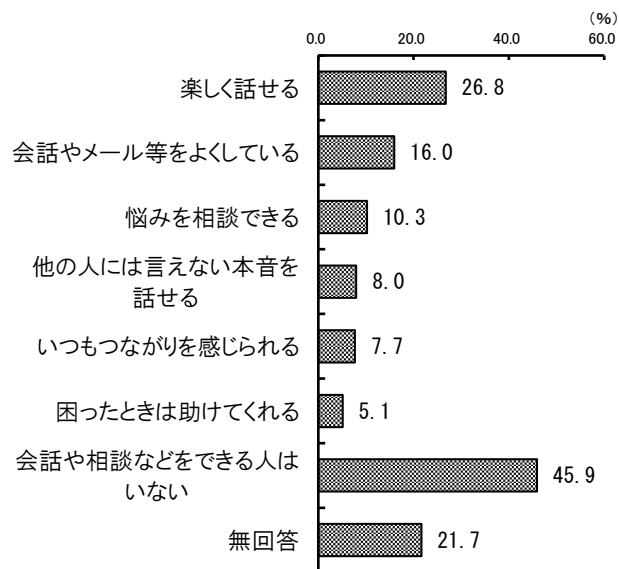


図 他者との関わり方

⑤インターネット上における人やグループ

(回答者総数：351)

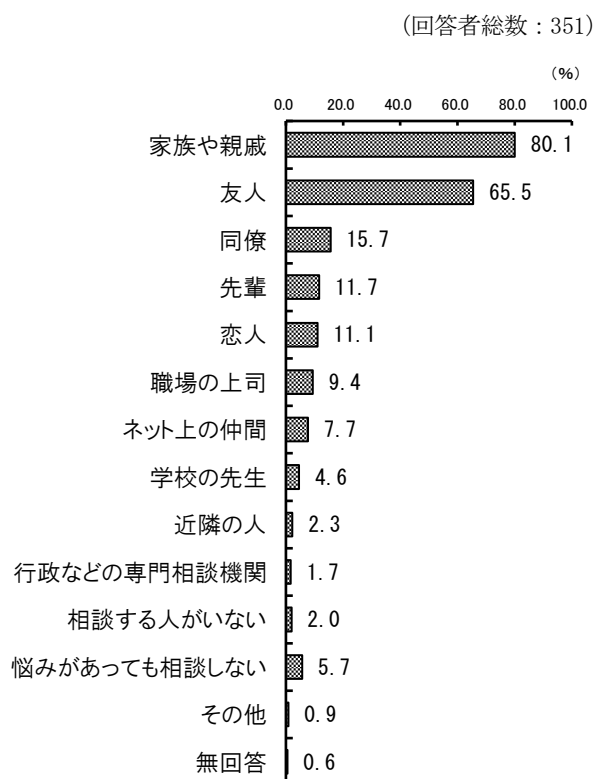


(6) 悩みごとなどの相談相手

問12 悩みや心配ごと、困っていることについて、相談する相手は誰ですか。〈いくつでも〇〉

悩みごとなどの相談相手については、「家族や親戚」が80.1%で最も多く、次に「友人」が65.5%、「同僚」が15.7%となっています。また、「相談する人がいない」は2.0%、「悩みがあっても相談しない」は5.7%となっています。

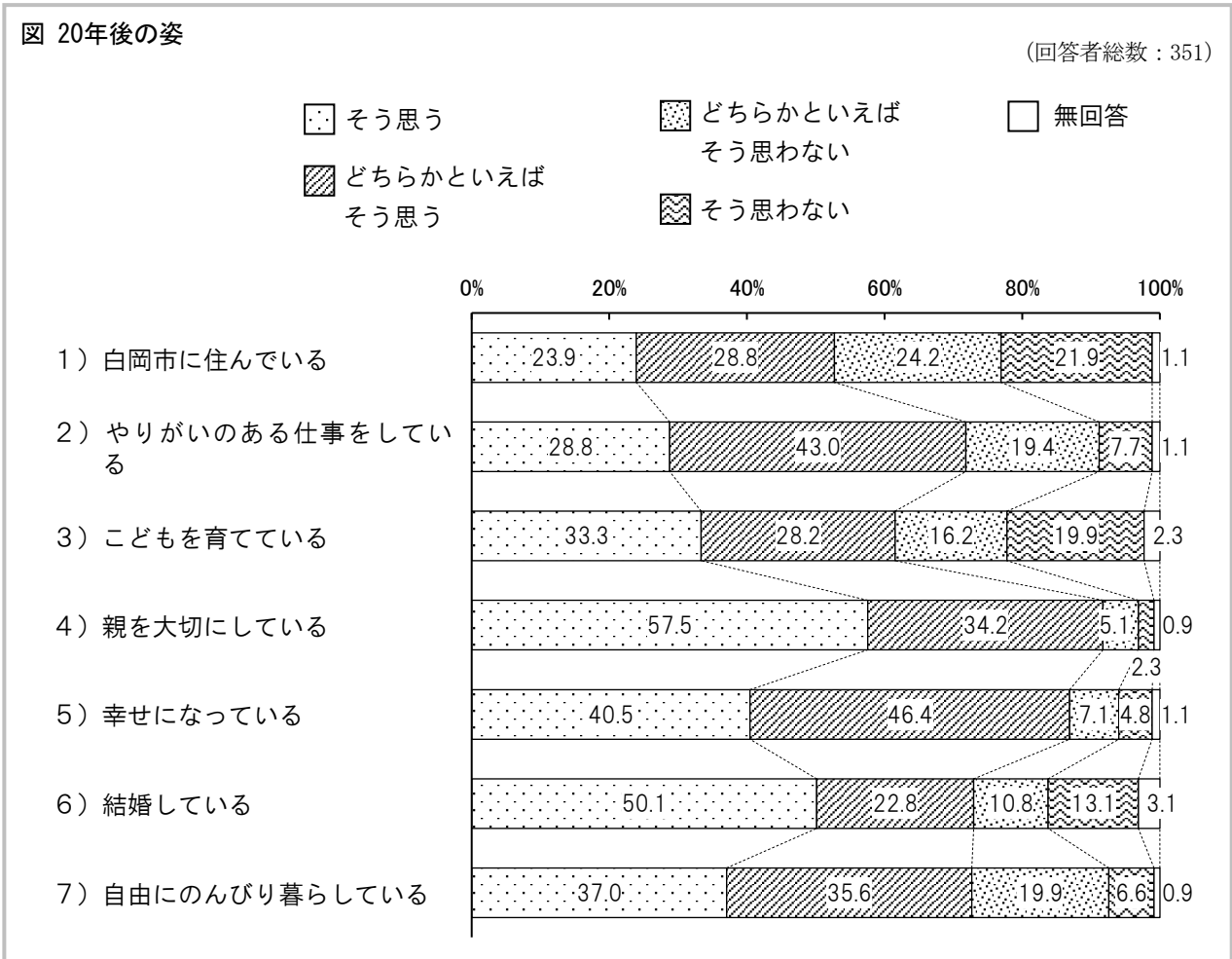
図 悩みごとなどの相談相手



(7) 20年後の姿

問13 あなたは20年後、どのようになっていると思いますか。あてはまる番号に○をしてください。

20年後の姿は、『白岡市に住んでいる』については、「そう思う」が23.9%、「どちらかといえばそう思う」が28.8%で、これらを合わせると約5割となっています。また、『親を大切にしている』では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると約9割で、項目の中で最も割合が多くなっています。次に多いのは『幸せになっている』で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が9割近くとなっています。



(8) 外出頻度と状態について

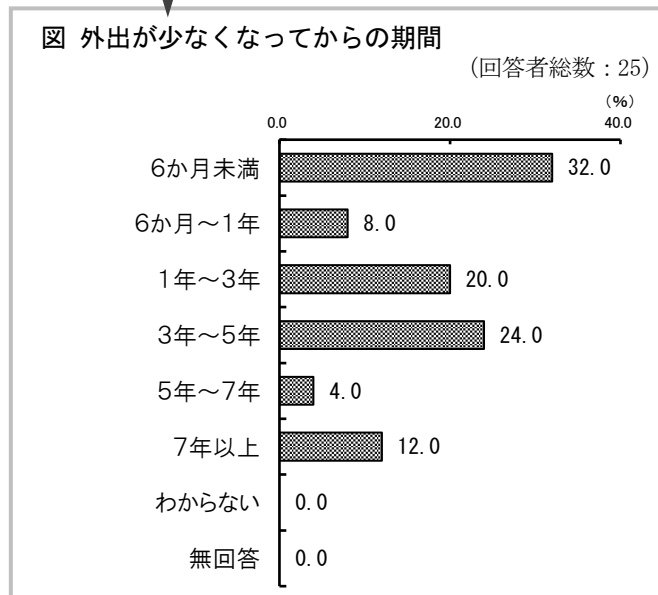
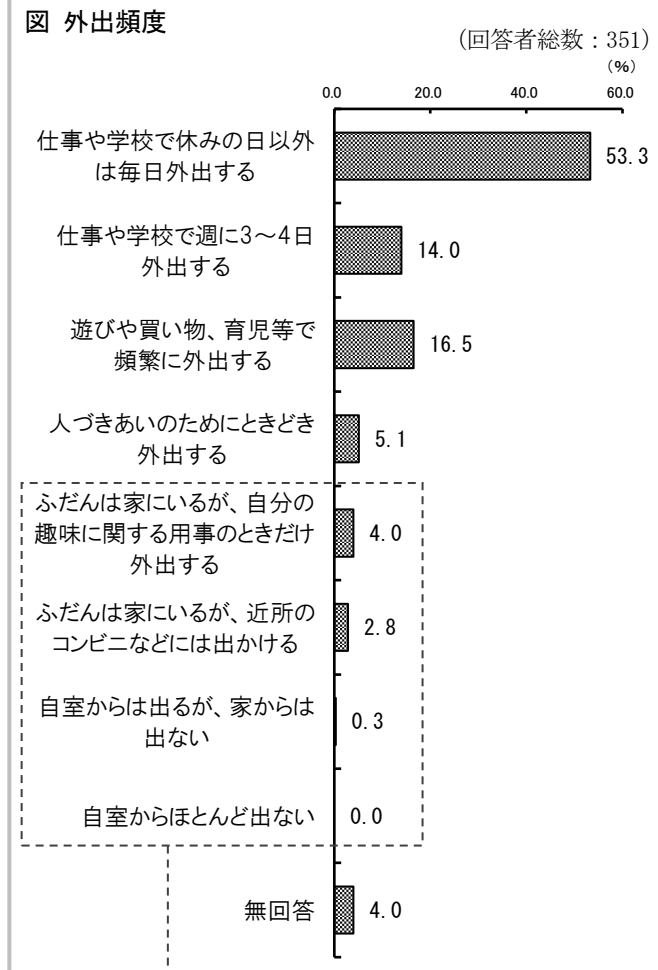
問14 あなたは普段どのくらい外出しますか。〈〇を1つ〉

問15-1 問14で、「5」～「8」（「5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「7. 自室からは出るが、家からは出ない」、「8. 自室からほとんど出ない」）を選んだ方にうかがいます。あなたの外出状況が現在の状態になって、どのくらい経ちますか。〈〇を1つ〉

外出については、「仕事や学校で休みの日以外毎日外出する」が53.3%となっています。

また、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」は4.0%、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」は2.8%、「自室からは出るが、家からは出ない」は0.3%、「自室からほとんど出ない」は0.0%となっています。

これら、外出が少ない人に外出が少なくなつてからの期間をたずねたところ、「6か月未満」が32.0%、「3年～5年」が24.0%、「1年～3年」が20.0%となっています。



問15-2 問15-1で「2」～「6」（「2. 6か月～1年」、「3. 1年～3年」、「4. 3年～5年」、「5. 5年～7年」、「6. 7年以上）を選んだ方にうかがいます。
あなたの外出状況が現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。

問15-3 問15-1で「2」～「6」（「2. 6か月～1年」、「3. 1年～3年」、「4. 3年～5年」、「5. 5年～7年」、「6. 7年以上）を選んだ方にうかがいます。
あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。<いくつかでも〇>

外出が少なくなってからの期間が6か月以上の人に、現在の状態になった年齢をたずねたところ、「20～24歳」が23.5%で最も多く、次に「15～19歳」、「25～29歳」、「30～34歳」が同率で17.6%となっています。

現在の外出状況になった理由については、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」と「特に理由はない」が同率で29.4%となっています。また、「妊娠したこと」が11.8%となっています。

図 外出状況が現在の状態になった年齢

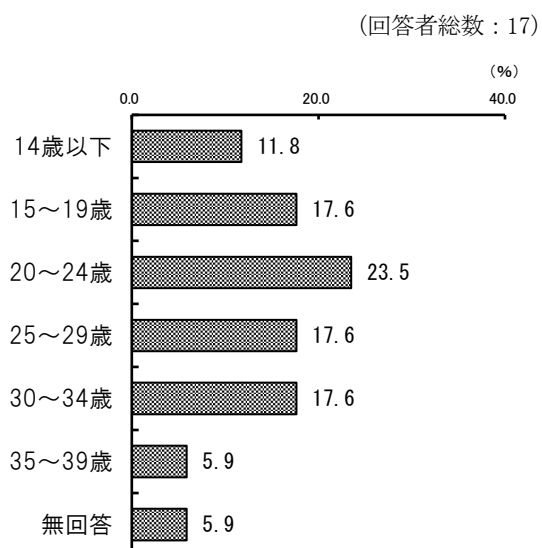
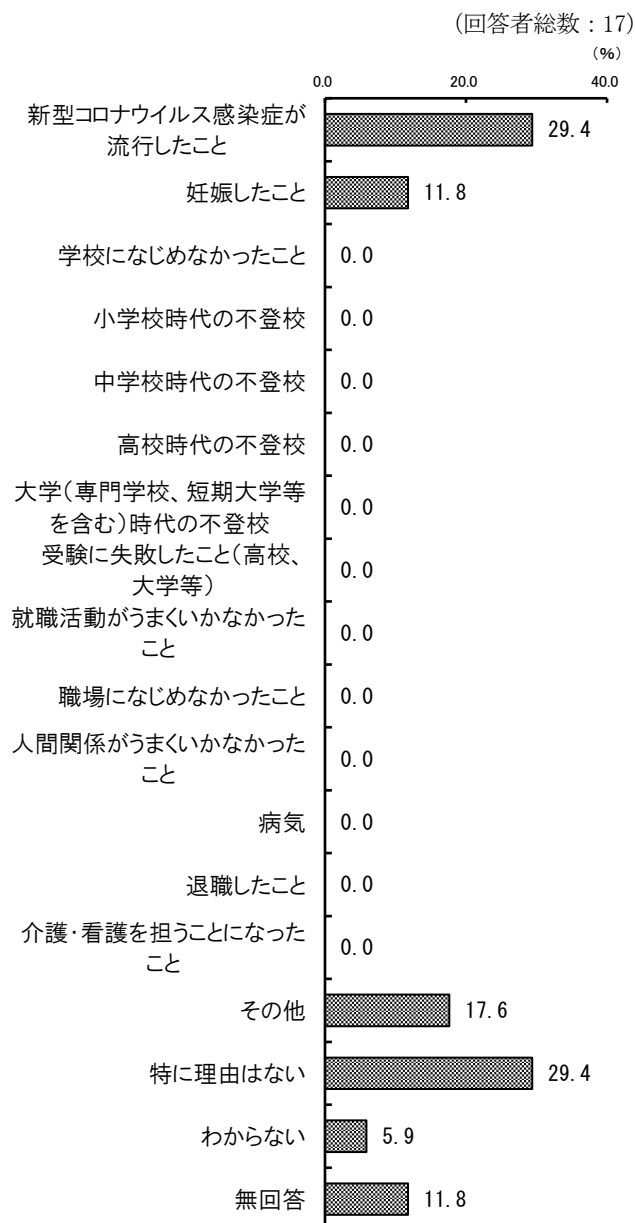


図 外出状況が現在の状態になった主な理由



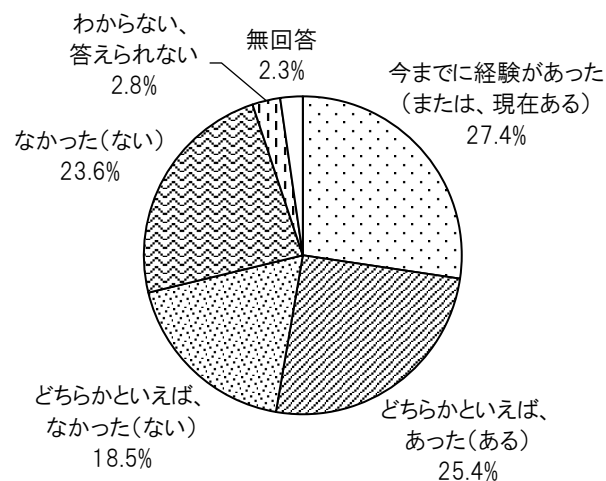
(9) 困難に直面した経験

問16 今までに、社会生活や日常生活で困難な状況に直面した経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況がありますか。〈○を1つ〉

困難に直面した経験については、「今までに経験があった（または、現在ある）」が27.4%、「どちらかといえば、あった（ある）」が25.4%となっています。また、「どちらかといえば、なかった（ない）」は18.5%、「なかった（ない）」は23.6%となっています。

図 困難に直面した経験

(回答者総数：351)

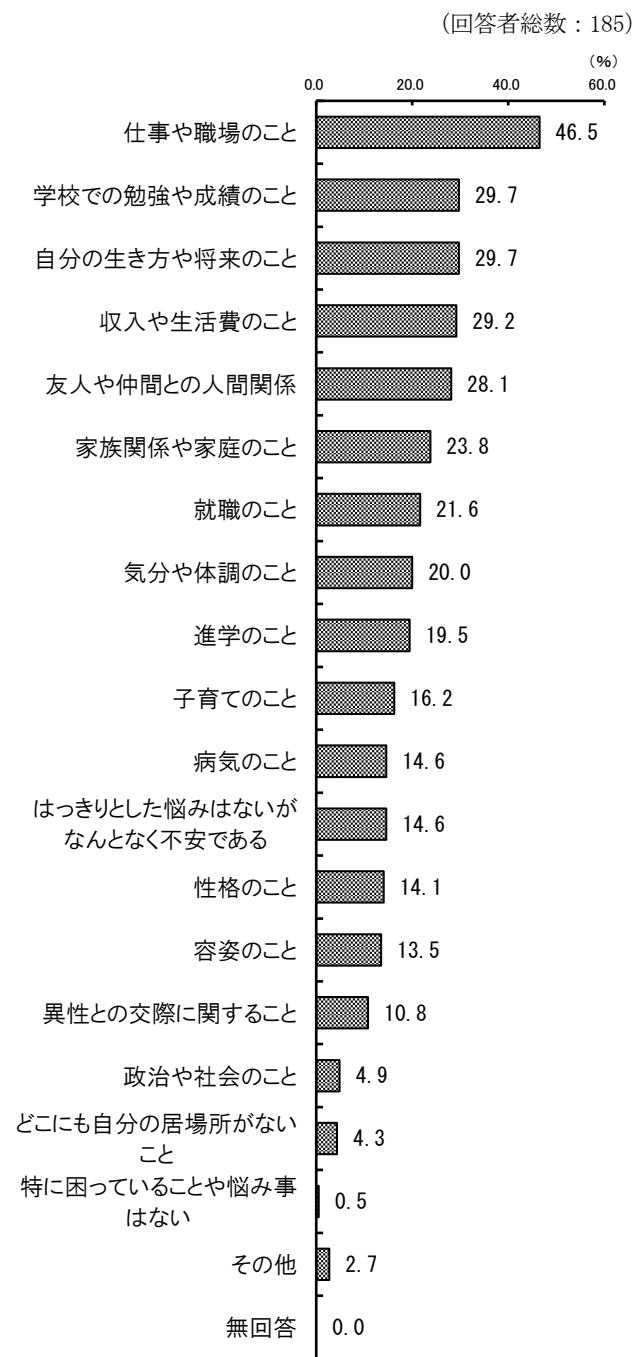


問17 問16で「1. 今までに経験があった（または、現在ある）」、「2. どちらかといえば、あった（ある）」に○をつけた方にうかがいます。

そうした問題を経験した、または現在経験している主な内容は何ですか。〈いくつでも○〉

困難に直面した経験がある人にその主な内容をたずねたところ、「仕事や職場のこと」が46.5%で最も多く、次に「学校での勉強や成績のこと」と「自分の生き方や将来のこと」が同率で29.7%となっています。「収入や生活費のこと」は29.2%となっています。

図 困難に直面した内容

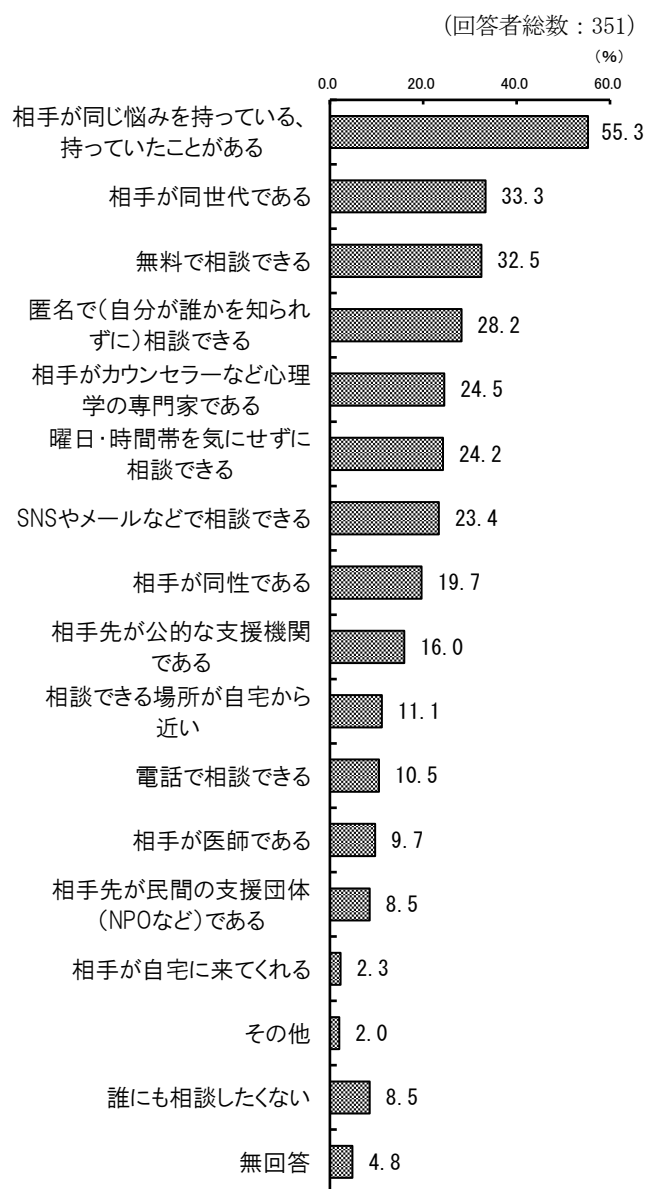


(10) 相談先に求めること

問18 あなたが、社会生活や日常生活で困難な状況になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。〈いくつでも〇〉

家族や知り合い以外の相談先に求めることについては、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が55.3%で最も多く、次に「相手と同世代である」が33.3%、「無料で相談できる」が32.5%となっています。また、「誰にも相談したくない」は8.5%となっています。

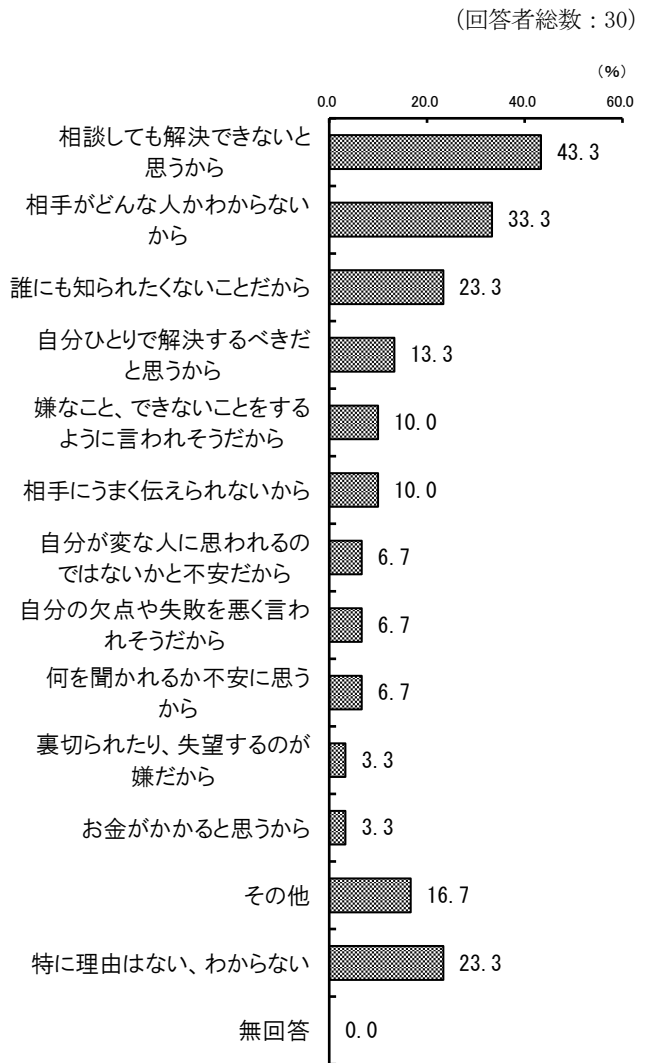
図 相談先に求めること



問19 問18で「16 誰にも相談したくない」に○をつけた方にうかがいます。
 「誰にも相談したくない」と思う理由は何ですか。〈いくつでも○〉

誰にも相談したくないとした人にその理由をたずねたところ、「相談しても解決できないと思うから」が43.3%で最も多く、次に「相手がどんな人かわからないから」が33.3%、「誰にも知られたくないことだから」が23.3%となっています。また、「特に理由はない、わからない」は23.3%となっています。

図 誰にも相談したくない理由



3. 若者への支援について

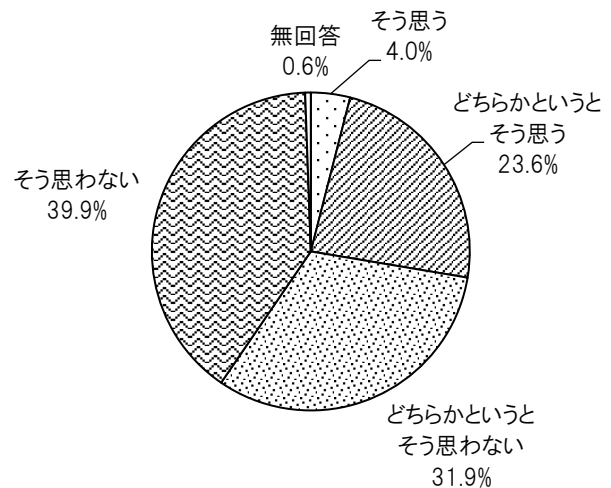
(1) 結婚や子育てに温かい社会について

問20 あなたは日本の社会が結婚、妊娠、子ども、子育てに温かい社会の現実に向かっていると思いますか。

日本の社会が結婚、妊娠、子ども、子育てに温かい社会に向かっているかについては、「そう思う」が4.0%、「どちらかというと思う」が23.6%となっています。一方、「どちらかというと思わない」は31.9%、「そう思わない」は39.9%で、そう思わない割合は約7割となっています。

図 結婚や子育てに温かい社会について

(回答者総数：351)



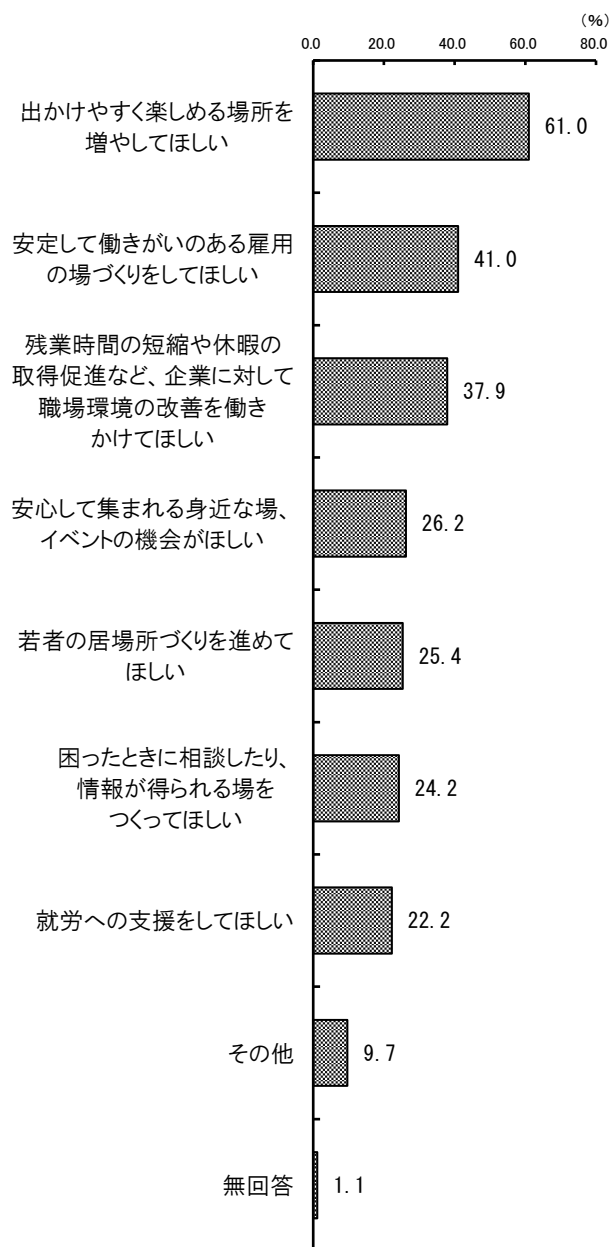
(2) 白岡市の若者支援で期待すること

問21 白岡市のこれからの若者支援について、どのようなことを期待しますか。〈いくつでも〇〉

白岡市の若者支援で期待することについては、「出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が61.0%で最も多く、次に「安定して働きがいのある雇用の場づくりをしてほしい」が41.0%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が37.9%となっています。

図 白岡市の若者支援で期待すること

(回答者総数：351)

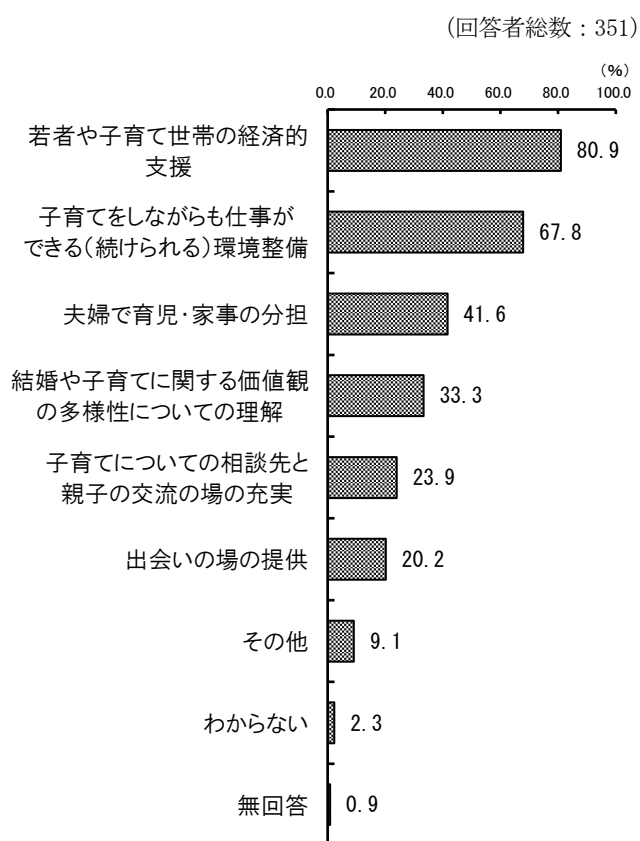


(3) 少子化抑制に効果的なこと

問22 少子化を抑制するには、どのようなことが効果的と考えますか。〈いくつかでも〇〉

少子化抑制に効果的なことについては、「若者や子育て世帯の経済的支援」が80.9%で最も多く、次に「子育てをしながらも仕事ができる(続けられる)環境整備」が67.8%、「夫婦で育児・家事の分担」が41.6%となっています。

図 少子化抑制に効果的なこと



(4) こども・若者支援に関する自由意見

問23 最後に、こども・若者支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(記入あり 71人)

主な内容

[まちづくりについて]

- こもれびの森のような老若男女が集まって楽しめる場所をさらに作っていただきたいです。
- 安心・安全に遊べる公園を増やしてほしい。小さな子を連れて出かけられる施設がもっとほしい。どこに行っても、スーパーでも図書館でも、肩身がせまいです。子どもがもっとのびのびと成長できる温かい街になることを望みます。
- 買い物ができる複合施設がないため、買い物が不便です。このような場所が一つでもできたら、子育て世帯、若者にとって住みやすくなると思います。
- 駅周辺に店舗が少なく不便です。白岡に仕事で来た営業さんはカフェなど時間を割く場所がなく、困っていました。駅前に利用しやすい施設があると助かります。
- 子どもといっしょにごはんを食べに行ける場所、遊びにいけるような場所の紹介やマップを作ってくださいと、引っ越したばかりなのでとても興味深いです。
- 路線バスを充実させてほしいです。交通弱者(高齢者、車を持たない・持たない人)にとって、白岡市は交通が不便です。
- 市内の道路に街灯が少ない。子どもの下校時、道路が暗く危ない。
- 歩道が少ない。駅前がとても危ないと感じる。
- 小児科や支援センターを駅近くに作って欲しい。
- 土地、家が高すぎる。子どもを育てるコスト、リスクが大きすぎて、不安になる。高齢化で空き家が増えてくるはずなので、それを自治体で買い取り安価に貸す。駅直下に大型保育園を作って長時運営する。できることはたくさんあるはず。期待しています。
- 通勤で東京まで出向いてる方が多いと思うのですが、東京まで行かずともお金を稼げる環境があれば通勤に時間もかからず家族との時間もはっきり確保でき、家庭、子育ての更なる発展につながると思いました。
- 新たな産業づくりを支援して、市全体を元気よくしてほしい。
- 障がいを持った人への支援をよろしくお願いします。
- 子育てをしている人で、本当に困っている人の話をきちんと聞いて市政に活かしてほしい。
- 不妊治療者に対しての休暇や時間調整などの理解は乏しいと感じている。不妊治療は未来への投資。
- 広報などは公式LINE等で配信してもらってほしい。

[保育環境について]

- 生活を守るには共働きが必要です。それに伴い子どもを幼稚園、延長保育、学童に預けなければなりません。時間をつぶす預かりではなく、どのような子どもを育てていきたいか一緒に考え、子どもに体験、経験をあたえられる環境があっても良いと思います。

- 保育園を増やしたり、幼稚園を子ども園にしたりと、待機児童数を減らす対策を早急に行ってほしい。
- 事前の登録や申請がなくても、気軽に子どもを預けられる施設があったら、子育てと仕事を両立しやすいと思っています。
- 共働きで、未就学児の兄弟が体調不良の際、預け先がなくて困る。園内に病児保育があるととても助かる。
- 保育資格を取得する為の支援に白岡市内の保育園で働くなどの条件をつけるなどの政策があるといいと思います。
- 希望する保育園に入れるよう保育施設を充実させて下さい。第3希望の保育園に決まりましたが、職場から遠く送迎が負担です。

[学校教育について]

- 子どもの体力作りとして、小さな積み重ねは大切だと思います。継続的な体力向上活動を取り入れてもらいたいと思います。
- いじめ対策をしっかりしてほしいです。いじめをした加害者、教師、学校の管理体制等、それぞれの立場に応じた指導が必要だと思います。
- 学校給食の無償化を考えて頂いたり、学校用品の補助金が出たりと、小、中学校の子育て世代への支援を手厚くしてほしいです。

[経済的支援について]

- 子どもの大学までの学費を考えると、お金を貯めているけど全然足りないと思います。学費の支援制度が充実してくれるとうれしいし、少子化対策になると思います。
- 子育て世帯に対して経済的支援を行うのに、所得制限を設けないでほしい。中途半端な支援だけして、大半の世帯が支援が必要なのに受けられない現状には絶望感しかない。
- 子どもは欲しいけどお金がない、というのが現実だと思います。不妊治療にかかる費用の支援や、出産・子育てにかかる費用の支援をもっと手厚くしてください。出産する毎にお祝い金、電動チャリ割引券、入学する毎にお祝い金、など。
- 給食費やランドセルなど実用品での援助を願いたい。
- 出産時や妊婦健診時で、助成金よりも病院では高く請求されるため、もう少し金額を上げてほしい。
- 児童手当だけでなく、住宅手当等、ランニングコストを軽減できる手当があれば良いです。

[若者支援について]

- 今の若者たちは、結婚したり、子どもが欲しかったりしてもそれら全てが簡単にできるものではないため、まず経済状況の改善、労働条件の改善をすることが大事だと思います。
- 金銭補助よりも子ども・若者が安心した生活を送れるような体制づくりが必要だと考えます。
- 美しい田畑を誇りに思える街になってほしい。白岡の良さは、都心にそれなりに近くありながら、自然が豊かで平和なところ。まわりまわって住みやすさや将来にわたって住み続けたいという若者たちの意識につながっていくのではないかな。

- まだ結婚や妊娠などの予定はないですが、もしそうなった際にでも安心できる環境が欲しいなと思います。何も気にすることなく仕事ができたり、妊娠してもお金の面を気にしなくて済むような、そんな環境だと安心です。
- 現在白岡市に住んでいる子どもや若者への支援だけでなく、その子どもや若者が将来も白岡市に住み続けたい、また、結婚しても白岡市で家庭を持ちたいと思うような支援があったら良いなと思います。
- 白岡市にパートナーシップ制度があることをとても誇らしく思っています。少数派や弱い立場の人に優しい社会は、結果的に、多くの人にとって優しい社会になるのではないかといます。
- 結婚する予定はなく、子どもも必要ありません。
- 子ども・若者支援は、国策として国がやるべき
- 働いている方向けの内容でリスクリングができる仕組みを作ってほしいです。オンラインで実施でき、参加できなかった方向けに、動画配信してしていただけるとよいと思います。
- ヤングケアラーへの対策をしてほしいです。学校だけでなく、若い社会人に対してもサポートしてほしいです。この問題によって、結婚などの障害になっています。
- マッチングアプリや婚活イベントのように、結婚に直結するものではなく、興味があることや好きなことなどから、人と出会える場が欲しいです。

その他の自由意見の内容を
ご覧になりたい方は
こちら



資料 調査票

(1) 子どもの生活に関する実態調査－中学2年生

アンケート説明書 (中学2年生)

白岡市こどもの生活実態調査

アンケートのご協力をお願いします。

- アンケートは、タブレット端末を使います。
- アンケートをはじめたら、最後まで回答してください。もし、途中でやめた場合は、もう一度最初からはじめてください。
- 回答は一人1回だけです。
- 回答したくない質問があったら、回答しないで次の質問に進んでもかまいません。
- アンケートでは、あなたのお名前を書くところはありません。
- このアンケートは、調査の目的以外には使用しません。
- 回答にかかる時間は10分くらいです。
- 令和6年3月26日(火)までにご回答ください。



- ① 右のコードを読み取ってください。
- ② 画面下の「回答する」ボタンをクリックし、回答をはじめてください。
- ③ 質問に回答したら、「次へ」ボタンをクリックし、進んでください。
- ④ 前の質問をやり直すときは、「戻る」ボタンをクリックしてください。
- ⑤ 回答が終わったら、「送信」ボタンをクリックして終わりです。

あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。[1つ]

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

学校や勉強について

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※ 勉強には学校の宿題もふくみます。[1～8については、あてはまるものすべて]

- 1 自分で勉強する
- 2 塾や通信等の教材で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他()
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。[a, b それぞれについて1つずつ]

	なま いた くし	少3 な0 い分 より	少13 な時 間以 上	少21 な時 間以 上	少32 な時 間以 上	3 時 間 以 上
a)学校がある日 (月～金)	1	2	3	4	5	6
b)学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。[1つ]

- 1 いつもわかる
- 2 だいたいわかる
- 3 教科によってはわからないことがある
- 4 わからないことが多い
- 5 ほとんどわからない

習業について

問5 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。[1つ]

- 1 中学まで
- 2 高校まで
- 3 短大・高専・専門学校まで
- 4 大学またはそれ以上
- 5 まだわからない

問6 問5で1～4と答えた人にお聞きします。

その理由を教えてください。[1～8については、あてはまるものすべて]

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他 ()
- 9 とくに理由はない

ふだんの生活について

問7 あなたは、学校の部活動やスポーツクラブ、文化クラブに参加していますか。[1つ]

- 1 参加している
- 2 参加していない

問8 問7で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
参加していない理由は何ですか。[あてはまるものすべて]

- 1 入りたいクラブ・部活動がないから
- 2 塾が忙しいから
- 3 費用がかかるとから
- 4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
- 5 一緒にいる友達がいないから
- 6 その他 ()

問9 あなたは今の生活に、どのくらい幸せだと感じますか。[5とても幸せだから「1」まで、
まったく幸せでない「5」の数字で教えてください。[1つ]

5	とても幸せでない	～	1	まったく幸せでない
5	4	3	2	1

ふだん考えられていることや感じていることについて

問10 あなたが困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいと思っ
ていることがあれば、教えてください。[1～9については、あてはまるものすべて]

- 1 家族のこと
- 2 家での生活のこと
- 3 学校の生活のこと
- 4 学校の勉強のこと
- 5 進学・進路のこと
- 6 塾や習い事のこと
- 7 部活動のこと
- 8 友人関係のこと
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問11 あなたは、困っていることや悩んでいることがあるとき、だれに相談しようと思
いますか。[1～10については、あてはまるものすべて]

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 親 |
| 2 | きょうだい |
| 3 | 祖父母や親せき |
| 4 | 学校の先生 |
| 5 | 学校の友だち (同級生・先輩・後輩) |
| 6 | 学校外の友だち |
| 7 | スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど |
| 8 | その他の大人 (塾・習い事の先生、地域の人など) |
| 9 | ネットで知り合った人 |
| 10 | その他 () |
| 11 | だれにも相談できない、相談したくない |

問12 問11で「11だれにも相談できない、相談したくない」と答えた人にお聞きします。
だれにも相談できない、相談したくなかった理由は次のどれですか。[あてはまる
ものすべて]

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 相談しても解決しないと思うから |
| 2 | 相手にどのように話せばよいかかわからないから |
| 3 | 過去に相談して嫌な思いをしたから |
| 4 | お金がかかると思ったから |
| 5 | 自分で解決しないといけないと思ったから |
| 6 | その他 () |

問13 問11で「11だれにも相談できない、相談したくない」と答えた人にお聞きします。
相談しなかった結果、悩みごとや困りごとはどうなりましたか。[1つ]

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 解決した |
| 2 | どちらとも思えない |
| 3 | 解決しなかった |

問14 次の項目について、ここ半年くらいのことを考えて、「1 あてはまらない」「2 あ
てはまる」「3 わからないのどれかから回答してください。[a～o それぞれにつ
いて1つずつ]

	い は ま ら な い	1 は ま あ て	2 は ま あ て	3 は ま あ て
a) 私は、他人に対して親切にしているようにしている。 私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3	3
b) 私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪 くなったりする。	1	2	3	3
c) 私は、他のこととちと、よく分け合う (食べ物・ ゲーム・ペンなど)。	1	2	3	3
d) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人 で遊ぶか、人と付き合うことを選べる。	1	2	3	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいた り、嫌な思いをしているときなど、すすんで助け る。	1	2	3	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりす ることがよくある。	1	2	3	3
i) 私は、同じくらいの年齢のことからは、だいた いは好かれていてる。	1	2	3	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信 をなくしやすい。	1	2	3	3
k) 私は、年下のこととちに対してやさしくしてい る。	1	2	3	3
l) 私は、他のこととちから、いじめられたり、からか われたりする。	1	2	3	3
m) 私は、自分からしずんでよくお手伝いをする (親・ 先生・こととちなど)。	1	2	3	3
n) 私は、他のこととちより、大人といえる方がうま くいく。	1	2	3	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3	3

問15 あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。
 また、「②利用したことはない」場合、今後利用したいと思いませんか。[a~d それ
 ぞれについて1つずつ]

	①利 か あ る し た こ と	②利用したことはない	③利用 あ ら な い と 思 わ な い	④利 か ら な い
a) (自分や友人の家以外)平日の夜や休日を通うことが出来る場所(図書館、コミュニティセンターなど)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外)タコはんを無料か安く食べることが出来る場所(子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問16 問15で、1 つでも「①利用したことがある」と答えた人にお聞きします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。[1~8については、あてはまるものすべて]

1 友だちが増えた	()
2 気軽に話せる大人が増えた	
3 生活の中で楽しみが増えた	
4 ほっとできる時間が増えた	
5 栄養のある食事をとれるようになった	
6 勉強がわかるようになった	
7 勉強する時間が増えた	
8 その他 ()	
9 特に変化はない	

問17 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。[1つ]

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことがあるが、よく知らない
- 3 聞いたことはない

※ ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や育児の役割などを日常的に行っていることをいいます。詳しくは、リンク先をご覧ください。
 リンク先: https://www.cfa.go.jp/policies/young_carer

問18 あなたの周りにヤングケアラーと思われる友人がいた場合、どのように対応しますか。[あてはまるものすべて]

- 1 本人の様子を聞く
- 2 家族、知人、友人に相談する
- 3 先生や部活の顧問等に相談する
- 4 関係機関に相談する
- 5 なにもしない
- 6 わからない
- 7 その他 ()

問19 あなたは、どのようなことも、若者の施策を望みますか。次から 1 番から 3 番までえらんでください。

1番目に望むもの	2番目に望むもの	3番目に望むもの
----------	----------	----------

- 1 こどもが楽しめる・参加しやすいイベントを増やして欲しい
- 2 こどもの悩みを相談できる窓口を作りたい
- 3 ホットとできる居場所を作りたい
- 4 勉強に関する支援を増やして欲しい
- 5 青少年の非行や犯罪防止の取り組みの強化を図って欲しい
- 6 駅周辺にこども・若者向けのお店が入ってほしい
- 7 こどもの意見を発表できる機会を作ってもらいたい
- 8 経済的な問題を抱えている家庭の支援をしてほしい
- 9 公共施設の利用の料金を無料にしてほしい
- 10 なにも望まない
- 11 その他 ()

問20 最後にあなたのご意見がありましたらご自由にご記入ください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) 子どもの生活に関する実態調査－保護者

白岡市子どもの生活実態調査

ご協力をお願い 【保護者用】

市民の皆様には、日頃、市政発展のため、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。
白岡市では、こども計画を策定するに当たり、保護者の皆様のお考えなどを伺うために、市内の中学校に通学されている中学校2年生の生徒をもつ保護者の皆様に「こどもの生活実態調査」を実施することとしました。

お忙しいところ、大変申し訳ございませんが、ぜひ、ご協力をお願いいたします。
なお、この調査は、保護者の方の考えで回答をしてください。

令和6年3月

白岡市長 藤井 栄一郎

ご記入にあたってのお願い

- ・ この調査は、無記名のため名前を書く必要はありません。
- ・ お答えになりたくない質問は、とばして次の質問にお進みください。
- ・ 回答方法は、アンケート調査用紙又はQRコードを読み取ってWeb回答のどちらからお答えください。回答期限は、令和6年3月26日(火)までです。
- ・ アンケート調査用紙で回答された場合は、書の返信用封筒に入れ、提出期限令和6年3月26日(火)までに投函をしてください。切手は不要です。
- ・ この調査は、調査の目的以外には使用しません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- ・ 調査に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

【調査に関する質問など、お問い合わせ先】

白岡市 健康福祉部 子育て支援課 子育て支援担当
電話：0480-92-1111(代表) FAX：0480-93-2325
メール：kosodate@city.shiraoka.lg.jp



あなたやあなたの世帯のことについて

問1 お子さんとはあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみられた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※ この調査で「お子さん」とは、調査対象となる中学2年生のお子さんのことをいいます。以下同じ。

- | |
|--------------|
| 1 母親(継母を含む。) |
| 2 父親(継父を含む。) |
| 3 祖父母 |
| 4 その他() |

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数(お子さんを含む。)を教えてください。単身赴任中の方は含めなくてください。

【人数を記入】()人

問3 前の質問で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------|
| 1 母親 |
| 2 父親 |
| 3 祖父母 |
| 4 兄弟姉妹 |
| 5 その他() |

問4 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1 結婚している(再婚や事実婚を含む。) |
| 2 離婚 |
| 3 死別 |
| 4 未婚 |
| 5 いない(祖父母、親戚等が養育をしている) |

問5 前の質問で「2離婚」と答えた人にお聞きします。離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 取り決めしており、養育費を受け取っている |
| 2 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている |
| 3 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない |
| 4 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない |

問6 ご家庭ではどのくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 日本語のみを使用している | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3 日本語以外の言語を使うことが多い | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問7 次の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなものでしたか。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	ほとんどない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころうと気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をすることも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

お子さんのご両親について

問8 お子さんのご両親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。(母親、父親それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	母親	父親
a) 中学(中学部)まで	1	1
b) 高校(高等部)まで	2	2
c) 短大・高専・専門学校(専攻科)まで	3	3
d) 大学またはそれ以上	4	4
e) いない、わからない	5	5

問9 お子さんのご両親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(母親、父親それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	母親	父親
a) 正社員・正規職員・会社役員	1	1
b) 嘱託・契約社員・派遣社員	2	2
c) パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
d) 自営業(家族従業員、内職、自営業、フリーランスを含む。)	4	4
e) 働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
f) いない、わからない	6	6

問10 前の質問で「働いていない」と答えた人にお聞きします。働いていない最も主な理由を教えてください。(母親、父親それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	母親	父親
a) 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
b) 子育てを優先したいため	2	2
c) 家族の介護・介助のため	3	3
d) 自分の病気や障害のため	4	4
e) 通学しているため	5	5
f) その他の理由	6	6

お子さんのこれまでの経歴について

問11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------|
| 1 認可保育所・認定こども園 |
| 2 その他の教育・保育等の施設 |
| 3 親・親族以外の個人 |
| 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた |

問12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------|
| 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園 |
| 2 その他の教育・保育等の施設 |
| 3 親・親族以外の個人 |
| 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた |

お子さんの教育などについて

問13 保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなこととどれくらいあてはまりますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる	ほとんどあてはまる	ややあてはまる	ほとんどあてはまらない	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4	4

問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よく参加している	参加している	あまり参加していない	ほとんど参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4	4
b) PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4	4

問15 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学まで
- 2 高校まで
- 3 短大・高専・専門学校まで
- 4 大学またはそれ以上
- 5 まだわからない

問16 前の質問で1～4と答えました。その理由は何か。(1～6について、あてはまるものすべてに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 お子さんの学力から考えて
- 4 家庭の経済的な状況から考えて
- 5 その他()
- 6 特に理由はない

あなたの現在の暮らしや生活について

問17 あなたは次にあげる事柄で頼れる人はいますか。(a～c それぞれについて、1～9のあてはまるものすべてに○)

	いる					その他の人	いない	人に頼らない
	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員			
a) 子育てに関する相談	1	2	3	4	5	7	8	9
b) 重要な事項の相談	1	2	3	4	5	7	8	9
c) いざという時の金のお金の相談	1	2	3	4	5	7	8	9

問18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

問19 世帯全体のおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○、収入については、※を参考にしてください。)

- 1 収入はない(0円)
 - 2 1～100万円未満
 - 3 100～150万円未満
 - 4 150～200万円未満
 - 5 200～250万円未満
 - 6 250～300万円未満
 - 7 300～400万円未満
 - 8 400～500万円未満
 - 9 500～600万円未満
 - 10 600～700万円未満
 - 11 700～800万円未満
 - 12 800万円以上
 - 13 わからない
- ※ 収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の勤め先収入(定期収入、賞与等)、事業所得(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)、公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)、農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)、財産所得(預貯金、家賃収入等)、その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)を含みます。

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(a～cについてそれぞれあてはまるもの1つに○)

	あ つ た が	未 な か つ た が
a) 電気料金	1	2
b) ガス料金	1	2
c) 水道料金	1	2

ヤングケアラーについて

問23 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことがあるが、よく知らない
- 3 聞いたことはない

※ ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っていることをいいます。

問24 あなたの周りにヤングケアラーと思われることもありましたか、どのように対応しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に様子を聞く
- 2 家族、知人、友人に相談する
- 3 先生や部活の顧問等に相談する
- 4 関係機関に相談する
- 5 なにもしない
- 6 わからない
- 7 その他()

公的支援の利用状況等について

問25 あなたの家庭では、次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、①利用したことがない②の場合、その理由は何ですか。(注釈)を参考にして回答してください。(a～e それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	①現在利用している	②現在利用していないが、以前利用したことがある	③利用したことがない	その他の理由			
a) 就学援助	1	2	3	4	5	6	7
b) 生活保護	1	2	3	4	5	6	7
c) 生活困窮者の自立支援相談窓口	1	2	3	4	5	6	7
d) 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	7
e) 母子家庭等就業・自立支援センター	1	2	3	4	5	6	7

<注釈>

就学援助: 経済的理由によりこどもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
生活保護: 病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

児童扶養手当: 所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。(児童手当とは異なります。)

問26 最後にいかがご意見がありましたらご自由に記入ください。

調査は以上です。
お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

(3) 子ども・若者の意識と生活に関する調査

子ども・若者アンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日ごろから市政に関するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

白岡市では、このたび、子どもや若者の方に対する取組を良くしていくため、市内に住まいの15歳～39歳の方を対象にアンケート調査を実施することにいたしました。

この調査は、今後の子ども・若者支援施策を検討する上での基礎資料となるものですので、普段の生活の状況や将来に対する考えなどについて、ぜひ、皆様の声を聴かせてください。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に集計処理し、調査の目的以外には使用いたしません。

大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和6年3月

白岡市長 藤井 栄一郎

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛て名の方、ご自身がお答えください。
2. アンケート調査の回答は、インターネットでも回答できます。その際は、右のQRコードをご利用ください。
3. 回答は、あてはまる回答の数字に○印をつけていただく場合と、数字を記入する場合があります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。「その他()」を選んだ場合は、カッコの中に、できるだけ内容をご記入願います。答えたくない質問は答えなくて大丈夫です。
4. **令和6年3月29日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函をお願いします。また、返信用封筒には、**切手の貼付や差出人の住所・名前の記入は不要です。**



【調査に関する質問など、お問い合わせ先】

白岡市：健康福祉部 子育て支援課 子育て支援担当
 電話：0480-92-1111 (代表) F A X：0480-93-2325
 メール：kosodate@city.shiraoka.lg.jp

1. あなたのことについてうかがいます。

問1 あなたの性別をお答えください。<○を1つ>
 ※身体的な性別、またはご自身が思われる性別を選択してください。

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問2 あなたの年齢をお答えください。<○を1つ>

1. 15歳～19歳 2. 20歳～24歳 3. 25歳～29歳
 4. 30歳～34歳 5. 35歳～39歳

問3 同居している家族についてうかがいます。あなたと同居している方をお答えください。
 (あてはまるものに○)

1. 父 2. 母 3. 兄弟・姉妹 4. 祖父母
 5. おじ・おば 6. 配偶者 7. ご自身のお子さん
 8. その他() 9. 同居家族はいない

問4 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りや生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている方をお答えください。<○を1つ>

1. あなた自身 2. 父 3. 母 4. あなたの配偶者
 5. 兄弟・姉妹 6. あなたの子 7. その他(具体的に：)
 8. わからない、答えられない

問5 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。<○を1つ>

1. 中学校 2. 高等学校 3. 専修学校・専門学校
 4. 高等専門学校・短期大学 5. 大学・大学院
 6. その他()

問6 あなたの現在の仕事をお答えください。<○を1つ>

1. 学生・生徒(予備校生などを含む) 2. パート・アルバイト
 3. 派遣社員 4. 契約社員・嘱託 5. 正規の社員・職員・従業員
 6. 会社などの役員 7. 自営業・自由業 8. 家族従業者・内職
 9. 専業主婦・主夫 10. 家事手伝い 11. 無職(仕事を探している)
 12. 無職(仕事を探していない)
 13. その他()

2. あなたの日頃の意識と生活についてうかがいます。

問7 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。<いくつでもO>

1. テレビラジオ	2. 新聞・雑誌
3. 広報しらおか	4. 公共施設にあるチラシ
5. ウェブ・ホームページ	6. SNS
7. その他 ()	

問8 あなたは、自分のことについてどう思いますか。自分の気持ちに最も近い番号を「1～5」の中から1つずつ選んでOをつけてください。

項目	そう思う	それほど思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	そう思わない	わからない
1. 自分には自分らしさというものがあると思う	1	2	3	4	5	
2. 今の自分が好きだ	1	2	3	4	5	
3. 自分の親（保護者）に愛されていると思う	1	2	3	4	5	
4. うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4	5	
5. あなたは、今、自分が幸せだと思う	1	2	3	4	5	
6. 自分の将来について明るい希望を持っている	1	2	3	4	5	
7. 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4	5	
8. 我が家は経済的に苦しいと感じる	1	2	3	4	5	
9. 社会に貢献したいと思う	1	2	3	4	5	

問9 今のあなたにとって「ここに居たい」と感じる居場所はどこですか。<いくつでもO>

1. 自分の部屋	2. 家庭（実家や親族の家を含む）
3. 学校（卒業した学校を含む）	4. 職場（過去の職場を含む）
5. 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	
6. インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	
7. その他 ()	
8. 居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）はない	

問10 あなたはどの程度、孤独であると感じていますか。<Oを1つ>

1. まったくくない	2. ほとんどない	3. たまにある
4. 時々ある	5. しばしばある・常にある	

問11 あなたと他者 ①「家族・親族」、②「学校で出会った友人」、③「職場・アルバイト関係の人※1」、④「地域の人※2」、⑤「インターネット上における人やグループ※3」どのかがわりについて、どのようなものですか。次の表の1～7であてはまるものを選択してください。あてはまるものすべてにO>

	① 家族・親族	② 学校で出会った友人	③ 職場・アルバイト関係	④ 地域の人	⑤ インターネット上における人やグループ
1. 会話やメール等をよくしている	1	1	1	1	1
2. 悩みを相談できる	2	2	2	2	2
3. 楽しく話せる	3	3	3	3	3
4. 困ったときは助けてくれる	4	4	4	4	4
5. 他の人には言えない本音を話せる	5	5	5	5	5
6. いつもつながりを感じられる	6	6	6	6	6
7. 会話や相談などできる人はいない	7	7	7	7	7

※1 現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など

※2 近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など

※3 実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合い合いの人やグループ

問12 悩みや心配ごと、困っていることについて、相談する相手は誰ですか。<いくつでもO>

1. 家族や親戚	2. 友人	3. ネット上の仲間
4. 学校の先生	5. 恋人	6. 行政などの専門相談機関
7. 職場の上司	8. 先輩	9. 同僚
10. 近隣の人	11. 相談する人がいない	
12. 悩みがあっても相談しない	13. その他 ()	

問113 あなたは20年後、どのようなようになっていると思いますか。あてはまる番号に○をしてください。

	その思う	そどら う思うか といえ は	そどら うわな なとい えは	そどら う思わ ない
1. 白岡市に住んでいる	1	2	3	4
2. やりがいのある仕事をしている	1	2	3	4
3. こどもを育てている	1	2	3	4
4. 親を大切にしている	1	2	3	4
5. 幸せになっている	1	2	3	4
6. 結婚している	1	2	3	4
7. 自由にのんびり暮らしている	1	2	3	4

問114 あなたは普段どのくらい外出しますか。<○を1つ>

1. 仕事や学校で休みの日以外は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3~4日外出する
3. 遊びや買い物、育児等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事るときだけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自宅からは出るが、家からは出ない
8. 自宅からほとんど出ない

問115-1 問14で「5」~「8」を選んだ方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になって、どのくらい経ちますか。<○を1つ>

1. 6か月未満
2. 6か月~1年
3. 1年~3年
4. 3年~5年
5. 5年~7年
6. 7年以上
7. わからない

問115-2 問15-1で「2」~「6」を選んだ方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。

歳（数字で具体的に）

問115-3 問15-1で「2」~「6」を選んだ方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。<いくつでも○>

1. 学校になじめなかったこと
2. 小学校時代の不登校
3. 中学校時代の不登校
4. 高校時代の不登校
5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校
6. 受験に失敗したこと（高校、大学等）
7. 就職活動がうまくいかなかったこと
8. 職場になじめなかったこと
9. 人間関係がうまくいかなかったこと
10. 病気（病名： ）
11. 妊娠したこと
12. 退職したこと
13. 介護・看護を担うことになったこと
14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと
15. その他（具体的に： ）
16. 特に理由はない
17. わからない

問116 今までに、社会生活や日常生活で困難な状況に直面した経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。<○を1つ>

1. 今までに経験があった（または、現在ある）
2. どちらかといえば、あった（ある）
3. どちらかといえば、なかった（ない）
4. なかった（ない）
5. わからない、答えられない

問117 問16で「1」「2」に○をつけた方にうかがいます。そうした問題を経験した、または現在経験している主な内容は何か。<いくつでも○>

1. 学校での勉強や成績のこと
2. 進学のこと
3. 就職のこと
4. 仕事や職場のこと
5. 子育てのこと
6. 友人や仲間との人間関係
7. 家族関係や家庭のこと
8. 異性との交際に関すること
9. 気分や体調のこと
10. 病気のこと
11. 性格のこと
12. 容姿のこと
13. 政治や社会のこと
14. 収入や生活費のこと
15. 自分の生き方や将来のこと
16. どこにも自分の居場所がないこと
17. はっきりとした悩みはないがなんとなく不安である
18. 特に困っていることや悩み事はない
19. その他（ ）

問18 あなたが、日常生活や日常生活で困難な状況になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思えますか。<いくつでも○>

1. 相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある
2. 相手と同世代である
3. 相手が同性である
4. 匿名で（自分が誰かを知られず）相談できる
5. 電話で相談できる
6. SNSやメールなどで相談できる
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる
8. 相談できる場所が自宅から近い
9. 相手が自宅に来てくれる
10. 無料で相談できる
11. 相手先が公的な支援機関である
12. 相手先が民間の支援団体（NPOなど）である
13. 相手が医師である
14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
15. その他（具体的に：問19へ）
16. 誰にも相談したくない（問19へ）

問20へ

問19 「誰にも相談したくない」と思う理由は何かがあります。

「誰にも相談したくない」と思う理由は何かですか。<いくつでも○>

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が愛な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他（具体的に：）
13. 特に理由はない、わからない

3. 若者への支援についてうかがいます。

問20 あなたは日本の社会が結婚、妊娠、産後、子育てに温かい社会の現実に向かっていくと思えますか。

1. そう思う
2. どちらかというと思う
3. どちらかというと思わない
4. そう思わない

問21 白岡市のこれからの若者支援について、どのようなことを期待しますか。<いくつでも○>

1. 安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい
2. 出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい
3. 困ったときに相談したり、情報が得られる場をつくってほしい
4. 若者の居場所づくりを進めてほしい
5. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
6. 安定して働きがいのある雇用の場づくりをしてほしい
7. 就労への支援をしてほしい
8. その他（）

問22 少子化を抑制するには、どのようなことが効果的と考えますか。<いくつでも○>

1. 若者や子育て世帯の経済的支援
2. 子育てをしながらも仕事ができる（続けられる）環境整備
3. 夫婦で育児・家事の分担
4. 子育てについての相談先と親子の交流の場の充実
5. 結婚や子育てに関する価値観の多様性についての理解
6. 出金い場の提供
7. その他（）
8. わからない

問23 最後に、子ども・若者支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査は、以上になります。
回答を終えた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに3月29日（金）までにポストへ投函をお願いいたします。
お忙しいところ、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

子どもの生活に関する実態調査
こども・若者の意識と生活に関する調査
アンケート調査報告書

令和6年7月

発行 / 白岡市

編集 / 白岡市健康福祉部子育て支援課

〒349-0215

白岡市千駄野445番地（はびすしらおか）

電話0480-92-1111